



Panasonic®

取扱説明書

ロボット掃除機(家庭用)

品番 MC-RS800

RULO

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 写真・イラスト、色合いは説明イメージのため、実際とは多少異なります。
- 説明に使用しているアプリの画面は、予告なく変更する場合があります。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします。(裏表紙ご参照)

RULO

こんなことができます。



お掃除スケジュール

曜日ごとにお掃除の開始時刻を指定してお掃除

お掃除記録

お掃除したエリアとゴミ量が見られる「履歴マップ」、履歴からゴミ量が多いエリアを集計する「ゴミ累計マップ」

エリア指定モード

お掃除するエリア、お掃除しないエリアを選んでお掃除

徹底掃除モード

タテ方向の走行 + ヨコ方向の走行 + ゴミの多いエリアをお掃除

お手軽モード

「ゴミ累計マップ」でゴミの多いエリアを集中的にお掃除

自動モード

部屋全体を自動でお掃除

スポットモード

気になる所だけをお掃除

スマートフォンで遠隔操作

本体で操作

お掃除の流れ

ご使用前に「安全上のご注意」(P.4～7)を必ずお読みください。

準備する

掃除する

スマートフォンで遠隔操作

本体で操作

部屋を整える
(P.10)

充電する
(P.12)

遠隔操作の準備
(スマートフォンと接続する)
(P.14)

自動モードで掃除する

まずは、
お部屋のマップ
を作ろう！

- お部屋の形状や大きさを認識させるために、まずは自動モードで部屋全体をお掃除させる必要があります。

詳しくは、18ページへ

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」に会員登録したうえでスマートフォンのアプリで本機の品番・製造番号を登録すると、スマートフォンから遠隔操作やお掃除記録の確認ができます。アプリの機能をお使いいただくためには、本機をインターネットに接続する必要があります。「遠隔操作の準備(スマートフォンと接続する)」(P.14)をご参照ください。

万一、リコール対象(当社が無償で点検・修理、または交換などを行うこと)になったとき、不安全を回避するために、当社がアプリの画面で事前にお知らせしたうえで、運転および充電を停止させることがあります。

もくじ

STEP.1 お掃除の前に…

準備する

ページ

- 4 安全上のご注意
- 7 使用上のお願い
- 8 各部の名前
 - 8 • 付属品を確認しましょう
- 10 お使いになる前に(部屋を整える)
- 12 充電する
 - 12 • 充電台を設置する
 - 13 • 本体を充電台にセットする
- 14 遠隔操作の準備(スマートフォンと接続する)
- 16 アプリ画面の見方

STEP.2 ロボット掃除機を使う

掃除する

- 18 掃除する
 - 18 • 自動モード
 - 18 • スポットモード

STEP.3 お掃除のあとは…

お手入れ

- 20 ゴミを捨てる(お手入れ)
- 22 お手入れする
 - 22 • 本体裏面・回転ブラシ・ブラシカバー
 - 23 • 本体・充電台
 - 23 • ハウスダスト発見センサー
 - 23 • 充電端子
 - 23 • センサー部・赤外線送受信部
 - 24 • サイドブラシ

●困ったことがあったら…

必要なとき

- 25 電池を交換する
- 26 お掃除レポート
- 27 設定を変更する／初期の設定に戻す
 - 27 • 音・音声の大きさ
 - 27 • ハウスダスト発見センサーの感度
 - 27 • 初期の設定に戻す
- 28 音声ガイド(お知らせ表示・エラー表示)
- 30 故障かな？
- 33 遠隔操作・「RULOナビ」アプリQ&A
- 34 内蔵無線LAN使用上のお願い
- 35 著作権など
- 50 仕様／別売品
- 51 保証とアフターサービス

準備する

掃除する

お手入れする

必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険

■電池(充電式リチウムイオン電池)



誤った使い方をしない

●MC-RS800以外に使用しない
(過電流による液漏れ・発熱・破裂する原因)

●火への投入、加熱をしない

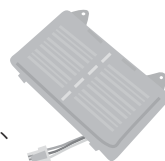
●火のそばや炎天下など高温の
場所で充電・使用・放置しない
(液漏れ・発熱・破裂・発火の原因)

●水につけたり、水をかけたりしない

●分解・改造をしたり、クギで刺したり、
衝撃を与えたりしない
(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)

●コネクターを金属でショート(短絡)させない

●金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に
持ち運んだり保管したりしない
(ショート(短絡)による液漏れ・発熱・発火の原因)



充電には専用の充電台を使用する

(液漏れ・発熱・発火・感電・けがの原因)



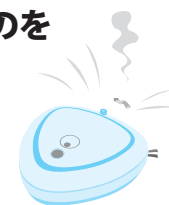
■本体・充電台



引火性のもの、火の気のあるものを吸わせない

(爆発や火災の原因)

たばこ、コピー用のトナー、灯油、
シンナーなど



回転ブラシ・タイヤ・サイドブラシに触れない

(けが・やけどのおそれ)

▶特に、お子様にはご注意ください。



本体に乗ったり、重い物を載せたり、 強い衝撃を与えたりしない

(けがのおそれ)



落下防止センサーに テープやシールを貼らない

(本体の落下によるけがや火災・感電の原因)



ふたが開いているとき、 ふたを持って本体を持ち上げない

(本体の落下によるけがの原因)



子供だけで使用させたり、 乳幼児の手の届く所で使用したりしない

(感電・事故・けがの原因)

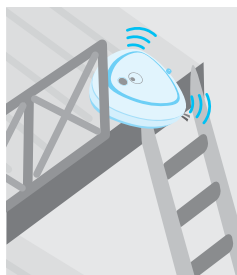
▶自分で意思表示ができない人や、自分で操作
できない人には使用させないでください。

警告



次の場所では使わない

- (本体・充電台の落下によるけがや火災・感電の原因)
- 吹き抜けに面し、落下防止柵のないロフトや廊下
 - 玄関、階段、急傾斜のスロープ
 - 本体が旋回できない狭い所
 - 冷蔵庫の上などの狭くて高い所 など



誤った使い方をしない

- 水洗いしない(水洗いできる付属品・部品は除く)
- トイレ、風呂場などの水回りで使わない
- 分解・修理・改造をしない(「お手入れする」(P.24)で、サイドブラシの取り外し、取り付けは除く)
(火災や感電の原因)
- 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない
(感電のおそれ)
- 電源プラグやコードを破損するようなことはしない(回転ブラシに巻き込ませる、傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねて使用する など)
(感電やショート(短絡)による発火の原因)
→修理は、お買い求め先にご相談ください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
(たこ足配線等で定格を超えると発熱による火災の原因)
- 充電台は本機以外の充電には使用しない
(過電流により電池が液漏れ・発熱・破裂する原因)
- 充電台、電源プラグ、コードが傷んだまま使わない
(発熱や発火による火災のおそれ)
- 本体・充電台の充電端子を金属でショート(短絡)させない
(ショート(短絡)による液漏れ・発熱・発火の原因)
- 針金や金属片などを本体や充電台の内部に差し込まない
(発熱・発火・感電の原因)



■電池(充電式リチウムイオン電池)



ぬれた手で電池を触らない

(発熱、発火、感電の原因)



電池が漏液して液が目に入ったときは、目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗う
(失明のおそれ)

→直ちに医師の治療を受けてください。

■内蔵無線LAN



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

(無線LANからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)



医療用電気機器のある場所で使用しない

(無線LANからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)



心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から15cm以上離す

(無線LANからの電波がペースメーカーの作動に影響を与えるおそれ)

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

警告

■本体・充電台



落下、衝撃、水ぬれを避ける
(感電・発火・異常発熱の原因)



次のことを守る

- 犬や猫などのペットは、ケージやサークルに入れるか別の場所へ移動させる
(感電・事故・けがの原因)
- 落下防止センサーが汚れているときはお手入れする
(落下によるけがの原因)
- お手入れのときや、子供やペットだけのときは、電源を切る(P.9)
(感電・けがの原因)



**本体が接触して事故を
まねくおそれのあるものは
移動させる**

- (火災・けが・事故の原因)
- 火のついたろうそく・たばこや花瓶など
(本体が当たった衝撃で落下したり倒れたりする場合があります)
 - 扇風機など本体と同じくらいの高さに操作部がある電化製品
(本体が当たって電化製品の操作部を押す場合があります)



電源プラグは、正しく扱う

- 根元まで確実に差し込む
(感電や発熱による火災の原因)
- お手入れのときは抜く
(感電のおそれ)
- ほこりは乾いた布で、定期的に拭く
(ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因)



**異常・故障時には直ちに使用を
中止し、電源を切り(P.9)、
充電台の電源プラグを抜く**
(発煙・発火、感電のおそれ)

異常・故障例

- スタート/ストップボタンを押しても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、本体接続ランプが点灯したりしなかったりする
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱くなったりする
- 焦げ臭い「におい」がする

→**すぐに、販売店へ点検・修理を
依頼してください。**

注意

■本体・充電台



火気に近づけない
(排気で炎が大きくなり、火災の原因)



運転中、本体をのぞき込まない
(転倒・けがの原因)



**運転中、テーブルなどの上に
物を置かない**
(本体が衝突した場合、衝撃で物が
落ちて破損の原因)



**傷みやすい敷物や床材(ワックス塗りたての
床・大理石の床など)では使用しない**
(破損・傷つきの原因)
→破損させた場合は、使用を中止してください。



傷んでいる床材や古い畳などでは使用しない
(破損・傷みが拡大する原因)



誤った使い方をしない

- ブラシカバー・起毛布・タイヤ・ローラー・サイドブラシが摩耗したり、砂・小石などの異物が付着したりしたら、そのまま使わない
(床面の傷つきの原因)
→ご使用前に点検し、摩耗時はお買い求め先にご相談ください。
- 本体を引きずらない(床面の傷つきの原因)
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない
(感電やショート(短絡)による発火の原因)

使用上のお願い

業務用や掃除以外の目的に使わないでください。

■電池(充電式リチウムイオン電池)



物を載せたり、落下しやすい所に置いたりしない

(発熱や発火・感電・けがの原因)



電池が漏液して液が体や衣服に付いたときは、きれいな水で十分に洗い流す

(皮膚の炎症やけがの原因)



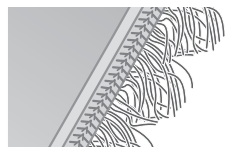
湿気やほこりの少ない場所で保管する

(発熱や発火・感電の原因)



次のことを守る

- 掃除の前に、壊れやすいもの・吸い込まれると困るものは片付ける
- 長いひもやコード類、フリンジ(房)の付いている敷物(じゅうたん・マットなど)・座布団は片付ける
- 片付けられない箇所では使用を避ける(破損・傷つきの原因)

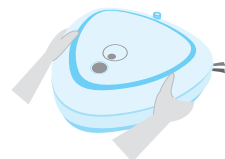


本体を運ぶときは、運転を停止してから両手でしっかり持つ

(本体の落下によるけがや故障、床面の傷つきの原因)

→操作部には触れないでください。

→タイヤや回転ブラシに指を挟まないようご注意ください。



遠隔操作する場合、本機周辺の状況を確認できないため、事前に安全を確認する(P.10)

(転倒・けがの原因)

■次のようなものは吸わせない(故障や異臭の原因)

- ・除湿剤
- ・ペットなどの排泄物が付着したもの
- ・多量の粉(消火器の粉など)
- ・ガラス、ピン、針、つまようじ
- ・湿ったもの
- ・カーペットのフリンジ(房)
- ・水や液体
- ・長いひも
- ・粘着性のあるもの(粘着式の防虫シートなど)
- ・食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの

■多量の砂、ペット用砂、小石などがある場所は掃除しない(故障の原因)

■タイヤを変形させない(誤動作の原因)

■回転ブラシに注油しない(破損の原因)

■吸込口・排気口をふさがない(過熱による変形の原因)

■セキュリティシステムが稼動しているときは使わない

(セキュリティシステムの誤動作の原因)

セキュリティシステムが稼動している時間帯に予約運転を開始する設定にしないでください。

■本体・充電台の各センサーや赤外線送信部・赤外線受信部に、テープやシールを貼ったり、布をかぶせたりしてふさがない(動作不良、故障の原因)

■表面が硬く、凸凹したコンクリート床などは掃除しない

(ブラシカバー・起毛布・タイヤ・ローラー・サイドブラシの摩耗の原因)

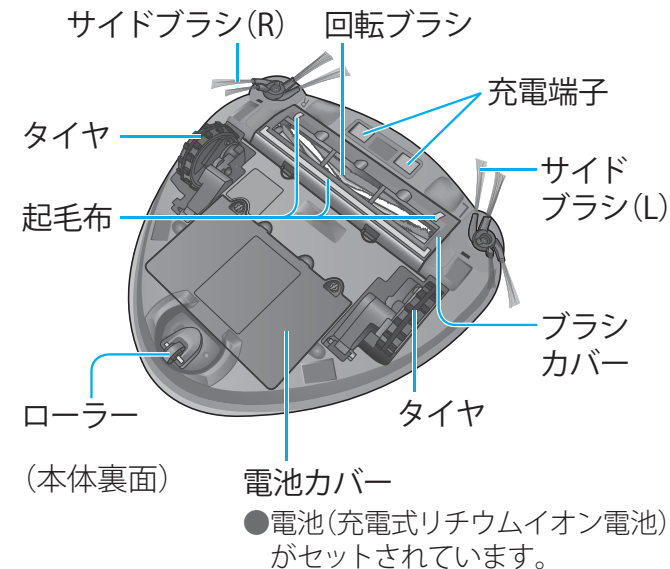
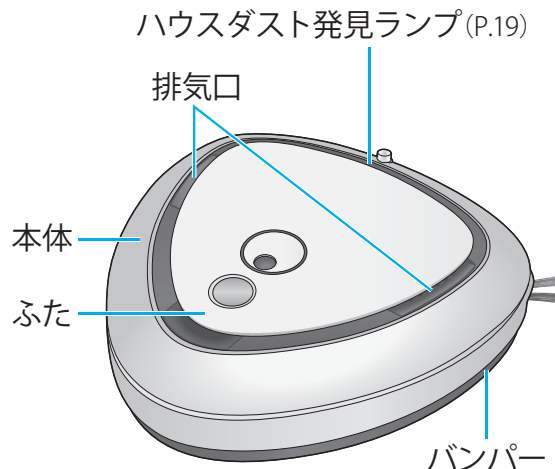
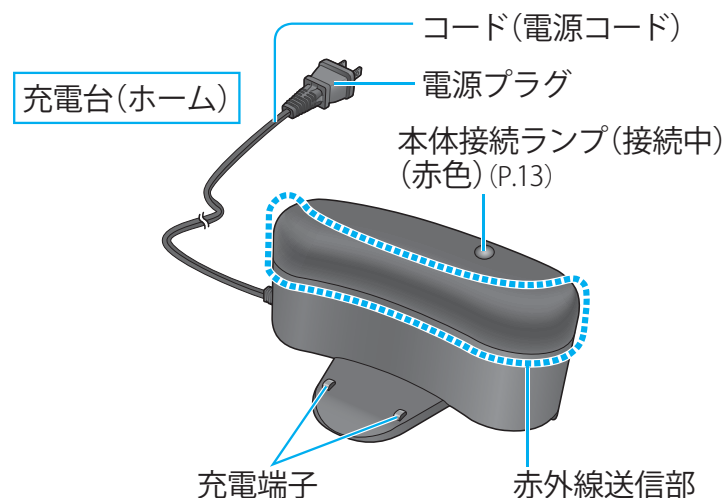


■本体がコードやひもに引っ掛からないように、充電台のコードは壁に沿わせる また、他の製品のコードやひもが引っ掛からないように片付ける (コード巻き込みなどによる故障や動作不良の原因)

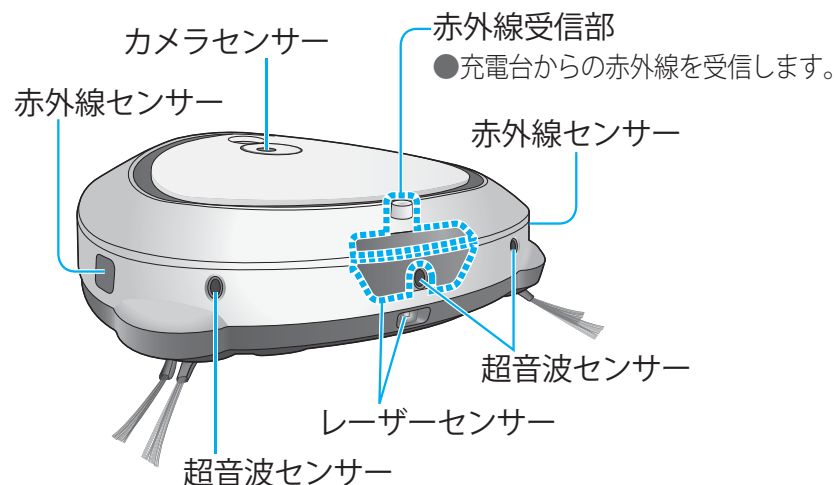
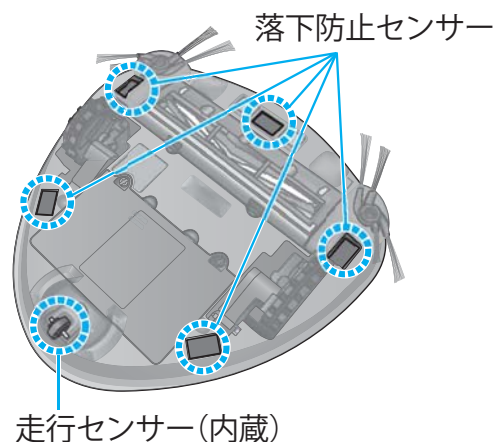
各部の名前

付属品を確認しましょう

の部品が付属品です。



センサー部

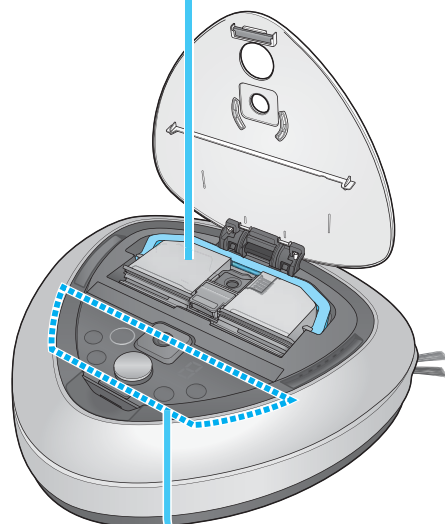
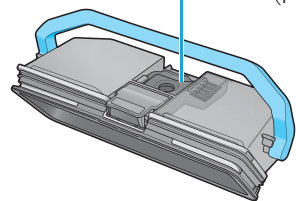


- 超音波センサー・赤外線センサー・レーザーセンサーで障害物を検知し、障害物を避けながら走行します。
(条件により、障害物を検知しない場合(P.30)があります)
- 落下防止センサーで約10 cm以上の段差を検知し、落下を防止します。
- カメラセンサーで自己位置を計算しながら走行します。
(掃除させるときは、部屋を明るくすることをお勧めします)

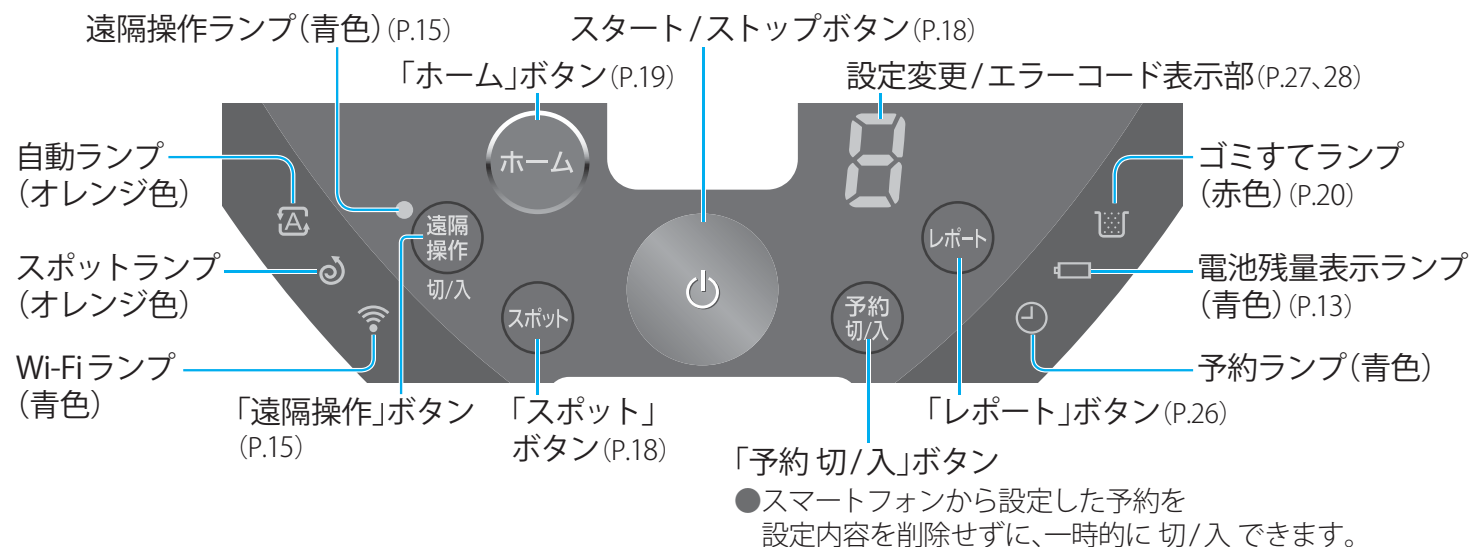
ダストボックス

お手入れブラシ

(P.20)



操作部



電源を入れるとき

本体を充電台にセットする
(左右のランプが順番(下から上)に点灯)

操作ができる状態(スタンバイ状態)
(・ が点灯)

●約5分間、操作をしないと、電池の消耗を抑える待機状態(スリープ状態)になります。
(すべてのランプが消灯)

電源を切るとき

本体を持ち上げて充電台から外し、
ふたを開けて 3秒以上押す
(左右のランプが順番(上から下)に点灯)

電源が切れる(すべてのランプが消灯)

●電源を切ったあと、充電台にセットするとスタンバイ状態になります。

本体の操作について

スリープ状態(すべてのランプが消灯)のときは、 **押す**

スタンバイ状態(・ が点灯)

を押すときは…

ボタンを押したあとすぐにスタートしますので、
すぐにふたを開けてください。
(ふたが開いていてもスタートします)

お使いになる前に

部屋を整える

スムーズに掃除できるように、次のいずれかを行ってください。

本体の運転が停止したり、マットやじゅうたんに絡まったり家具などを傷めたりする場合があります

- あらかじめ片付ける
- 別の部屋に移動する
- 壁代わりになるものを置く(保護する必要があるもの)

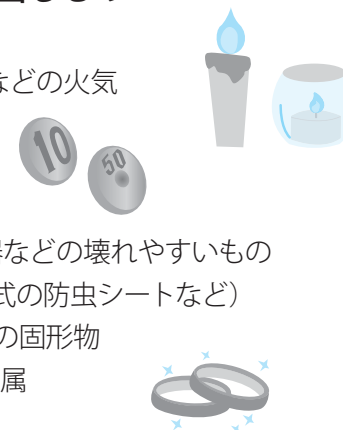
こんな場所では使用できません

(正しく走行できなかつたり、絡みついたりする場合があります)

- 毛足の長さが2 cm以上のじゅうたん
- 薄くて柔らかい素材のじゅうたんやラグ・マットなど
- 鏡面状(ガラス、鏡、大理石など)の床、黒っぽいじゅうたんや床など(敷物・床面の傷つき、本体の誤動作・故障の原因)
- 約35 cmより狭い空間
- 約2 cm以上の段差(使用状況によっては、約2 cm未満の段差でも乗り越えられない場合があります)
(本体が移動の途中で止まる、段差に乗り上げる原因)

誤って吸い込まれると困るもの 床を傷つけるものなど

- たばこ・線香・ろうそくなどの火気
- 吸い込まれやすい小物
- 硬貨
- ペットの排泄物や液体
- 床に置いたガラスや陶器などの壊れやすいもの
- 粘着性のあるもの(粘着式の防虫シートなど)
- 金属・プラスチックなどの固形物
- アクセサリーなどの貴金属
- 小石



本体が当たった場合、 誤動作するおそれのあるもの

- 本体と同じ高さに操作部がある電化製品

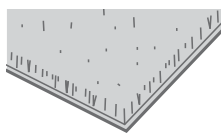


本体が乗り上げて 傷を付けるおそれがあるもの

- 本体が乗り上げてしまう高さにある家具(コートスタンドなど)や電化製品(扇風機など)

回転ブラシ・ローラー・タイヤ・ サイドブラシに巻き込まれやすいもの

- 毛足の長さが2 cm以上のじゅうたん
- 薄くて柔らかい素材のじゅうたんやラグ・マットなど
- 風呂マットなどの薄い敷物
- すべり止め用ゴムマットなど粘性のある薄い敷物
- 敷物や座布団などのフリンジ(房)
- テーブルクロスやカーテンなど床に垂れ下がった部分
- 電気器具のコード
- ひも・ベルトなどの細長いもの
- 薄い紙や布、ビニール袋など

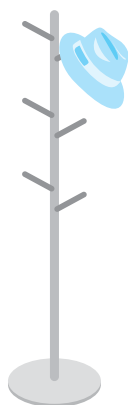


本体の走行を妨げるもの

- 座布団、ふとん、本、雑誌など
- ホットカーペットのコントローラー部など

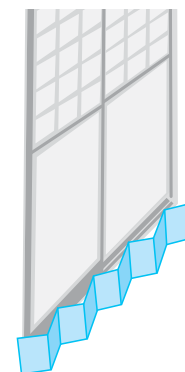
本体が当たった場合、 転倒するおそれのあるもの

- 帽子・コートスタンドなどの細長くて軽い家具



行かせたくない所

- 傷つきやすい建具や家具、壁(障子、ふすま、びょうぶなど)
- 本体が乗り上げて動けなくなる段差など
- 床近くまである窓ガラスやブラインド、鏡など
- 階段、玄関など
- ストープなどの熱を発する機器
- 運転が停止した際に、本体に手が届かなくなる所
(容易に移動できない家具の下など)



お知らせ

- フリーフェンス(別売)で部屋を仕切ったり、家具などを保護したりすることもできます。(P.50)

- 窓などから直射日光が差し込む場合は、厚手のカーテンを引く
(誤動作を防ぐために)

充電する

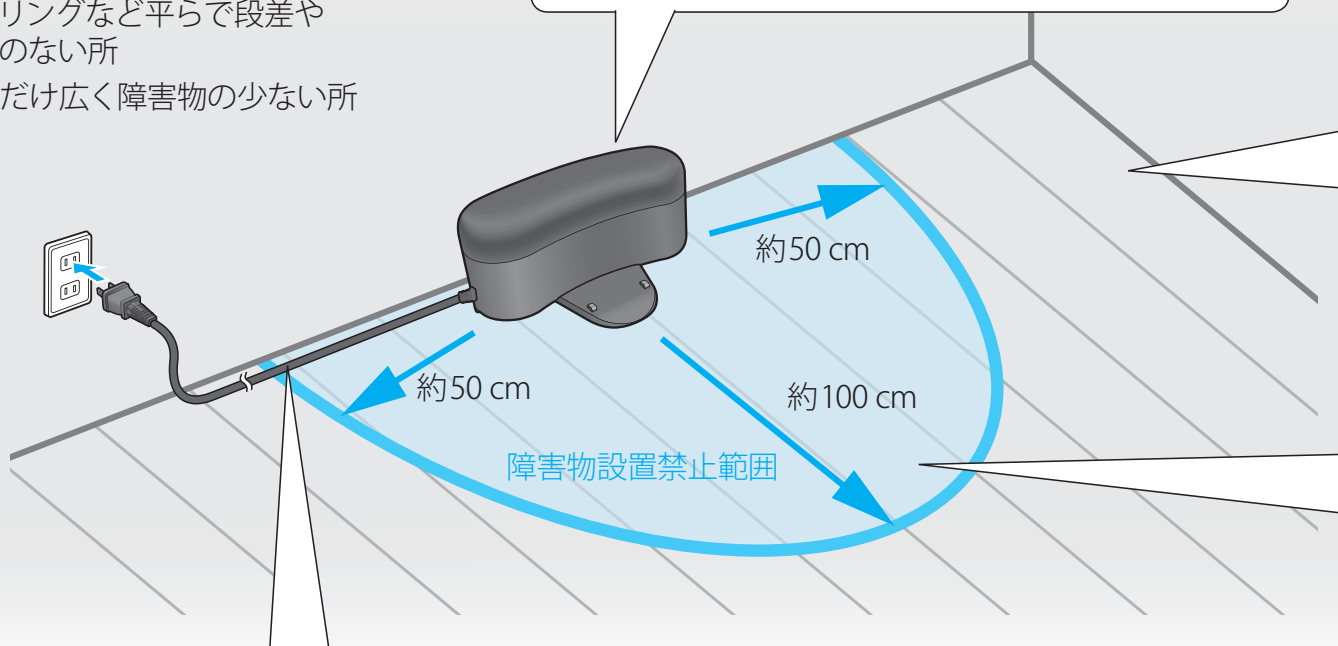
充電台を設置する

設置する場所は…

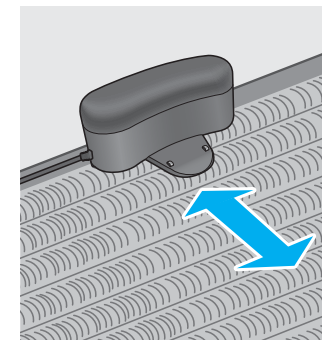
- 本体をよく使う部屋
- フローリングなど平らで段差やくぼみのない所
- できるだけ広く障害物の少ない所

壁に沿わせて置く

(充電台が本体に押されて移動することを防ぐため)

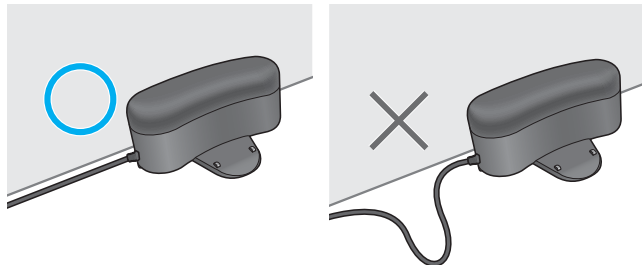


畳の目に沿わせて置く



この範囲に物を置かない
(本体が自動で充電台に戻れなくなるのを防ぐため)

コードは束ねずに、壁に沿わせて伸ばす



コンセントの位置によっては…



充電台の裏側の溝に、コードを上図のようにセットする

お知らせ

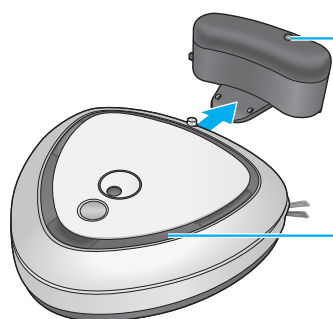
- 充電台からの信号を本体が正しく受信できない場合があります。(P.31)
 - ・ 日光(すりガラスから入る日光を含む)が入っているとき
 - ・ 赤外線を発する機器を使用しているとき

本体を充電台にセットする

お買い上げ時には電池が十分に充電されていないので、ご使用前に必ず充電してください(充電時間は約3時間です)

電池を長持ちさせるために

- 1か月以上使わないときは、満充電にしたあと電源を切って保管し、1年に1回は充電してください。
(電池残量の少ない状態で保管すると、電池の性能や寿命の低下の原因)
- 室温が5℃以上35℃以下の場所で充電してください。室温が低い場合や、直射日光が当たるなど高温の場所では、正しく充電されません。
運転時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。



本体接続ランプ(赤色)

点灯：本体と充電台が正常に接続していることをお知らせしています。

- 点滅のときは異常です。「故障かな?」(P.31)を参照してください。

電池残量表示ランプ

充電中

明滅(青色)

充電完了

消灯

- 電池残量がわずかになると、電池残量表示ランプが点滅します。充電してください。

お願い

- 本体接続ランプが点灯しないときや、すぐに消灯するときは、充電台にセットし直してください。(正しくセットされていれば、本体接続ランプが点灯)
- 6か月以上使わなかったときは、電池が過放電となって使用時間が短い場合があるため、使用前に必ず充電してください。
- ラジオやテレビなどに雑音が入る場合は、充電台を1m以上離してください。

お知らせ

- 周囲温度・使用時間などのご使用の条件により、電池の温度は変化します。
電池の温度が高いときや低いときは、充電に適した温度になるまで自動的に待機するため充電時間が長くなることがあります。(最長約8時間です)
- 充電中に本体や充電台が温かくなりますが、異常ではありません。
- 使用時間は、電池温度やご使用の状態により変わります。
- 充電台は、本体を載せていなくても約0.4Wの電力を消費しています。
- 充電台から音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

遠隔操作の準備(スマートフォンと接続する)

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」に会員登録したうえでスマートフォンのアプリで本機の品番・製造番号を登録すると、スマートフォンから遠隔操作やお掃除記録の確認ができます。アプリの機能をお使いいただくためには、本機をインターネットに接続する必要があります。

万一、リコール対象(当社が無償で点検・修理、または交換などを行うこと)になったとき、不安全を回避するために、当社がアプリの画面で事前にお知らせしたうえで、運転および充電を停止させることがあります。

アプリを使うために… 確認しましょう。

●Android または iOS (iPhone) のスマートフォン

- 対応OSについて

http://jpn-psa.faq.panasonic.com/app/answers/detail/a_id/22861/



●インターネット接続

インターネット回線とプロバイダー契約が必要です。



●無線LAN ブロードバンドルーター(以下無線LANルーター)

ロボット掃除機をインターネットに接続するために使用します。



お願い

- セキュリティ対策のため、必ず暗号化方式WPA2またはWPA (いずれもTKIPまたはAES)の設定ができる無線LANルーターをご使用ください。暗号化方式は、WPA2 (AES)をお勧めします。(設定方法は、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください)

「CLUB Panasonic」の会員になる

パナソニックの会員サイト

「CLUB Panasonic」に会員登録する

アプリの使用には、「CLUB Panasonic」のログインIDが必要です。

1

「CLUB Panasonic」にアクセスする

<http://club.panasonic.jp/>



2

「新規会員登録」から画面に従って登録する

お知らせ

- パソコンからも会員登録できます。
- すでに「CLUB Panasonic」会員の方は、次の手順に進んでください。(P.15)

「RULOナビ」アプリを起動する

専用アプリ「RULOナビ」(無料)を
スマートフォンにインストールして起動する

1 Google Play または App Store で
「RULOナビ」を検索する



2 「RULOナビ」を
インストールする



こちらからもできます

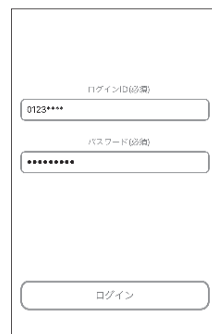
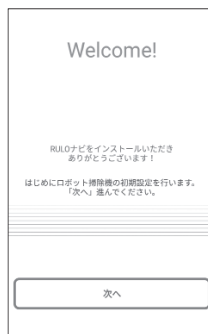
■ Android



■ iOS



3 「RULOナビ」アプリを起動して
「CLUB Panasonic」にログインする



アプリで使うための設定をする

ロボット掃除機を無線LANルーターに接続し、
機器情報をインターネットのサーバーに登録する

無線LANルーターの近くで行ってください。

1 アプリの画面に従って、ロボット掃除機を
無線LANルーターに接続する

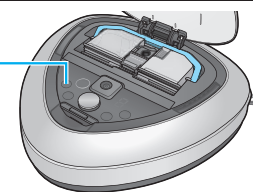


●接続が完了すると、効果音が鳴ります。
(Wi-Fi が点灯)



2 アプリからロボット掃除機を登録する(My 家電登録)

3 遠隔操作
を押す
(遠隔操作ランプ点灯)
→遠隔操作の準備完了



本体を充電台にセットし、自動モードでお掃除してください
お部屋のマップ(P.17)が作成されます

●遠隔操作を中止させるときは、「遠隔操作」ボタンを再度押す (P.33)
(遠隔操作ランプ消灯)

アプリ画面の見方

「RULOナビ」アプリの基本画面(トップ画面)

メニュー(アプリの使い方・設定)

- アプリの使い方、スケジュールの編集・確認、エリア編集など

充電状態表示

- 充電台(ホーム)にセットされた状態のときに、充電の状態を表示します。

ロボット掃除機の状態

ロボット掃除機の名前

- My 家電登録に登録した名前が表示されます。

お知らせ表示

次回の予約表示

- メニューの「お掃除スケジュール」から予約できます。

スタートボタン

- お掃除を「自動モード」でスタートします。

運転モード

- モードの設定ができます。
エリア指定／徹底掃除／お手軽

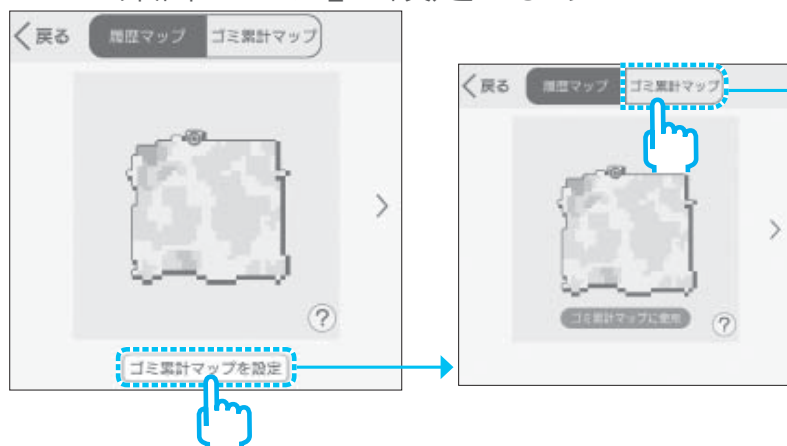
お掃除記録の確認

- 履歴マップ・ゴミ累計マップ・運転時間など



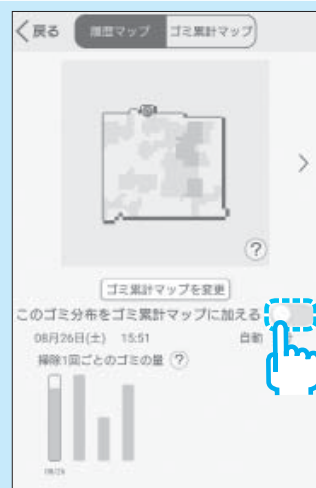
お部屋のマップについて

お部屋のマップが作成されたら…
「ゴミ累計マップ」を設定しよう



お知らせ ●ゴミ累計マップは、自動モードで充電台からスタートし、充電台に戻ってきた場合のゴミマップから設定ができます。

お掃除のたびに作成される
「履歴マップ」(最大60回分)を
用いて、いつもゴミが多い所を
集計します。



お掃除のたびに、
集計するかどうかを決めて
「有効」に設定する
(「有効」にした「履歴マップ」
だけが集計されます)

お部屋のマップを使ってお掃除しよう

「有効」にした「履歴マップ」の
ゴミ分布データが平均化されて、
「ゴミ累計マップ」に反映されます。

ゴミの多いエリアのみをお掃除

→「お手軽」モード

ゴミ累計マップ



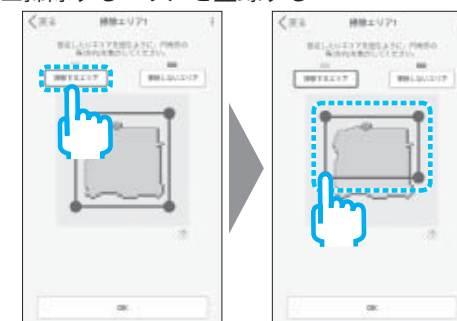
お部屋のマップから、任意の
掃除エリアを登録できます。
(登録できるエリアは8か所)

登録した掃除エリアを選んでお掃除

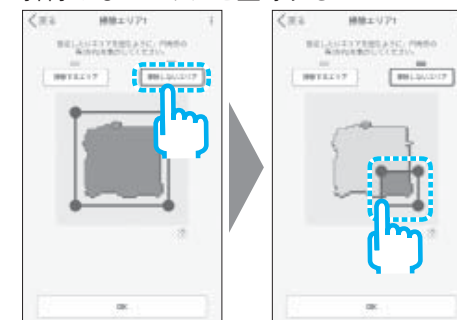
→「エリア指定」モード

→「徹底掃除」モード

■掃除するエリアを登録する



■掃除しないエリアを登録する



掃除する

⏮ 自動モード / ⌚ スポットモード

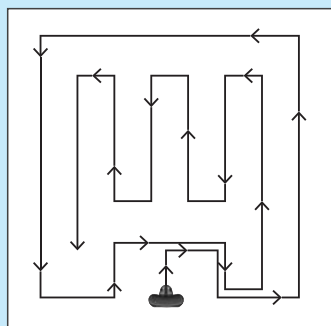
運転モードを選んでお掃除！

部屋全体を自動でお掃除！

⏮ 自動モード

各種センサーで部屋の形状や障害物を認識し、壁際や部屋全体を効率的に走行します。
ハウスダスト発見センサーがゴミを見つけたら、吸込力と走行を調整します。
隅と判断したら念入りにお掃除します。

- 障害物があるときは、障害物を避けながらお掃除し、走行イメージとは異なる動きをします。

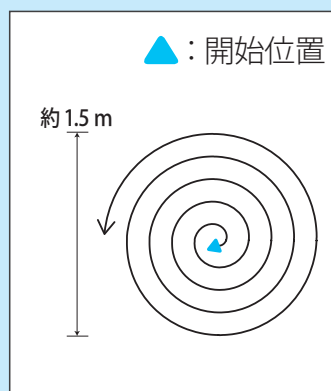


気になる所だけをお掃除！

⌚ スポットモード

開始位置を中心に外側に向かって渦巻き状にお掃除し、直径約1.5 mに到達すると内側に向かって渦巻き状にお掃除しながら中心に戻ります。

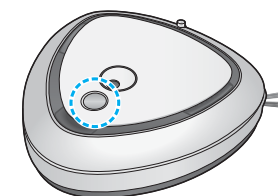
- 床面の状態（じゅうたんが敷いてあるなど）によっては、掃除場所がずれる場合があります。
- 障害物があるときは、障害物を避けながらお掃除し、走行イメージとは異なる動きをします。



本体で操作しよう！（操作方法↓P.9）



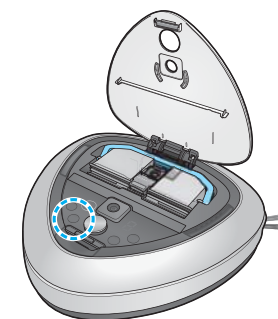
押す



スポットモードは、掃除したい場所に本体を移動させてからスタートしてください

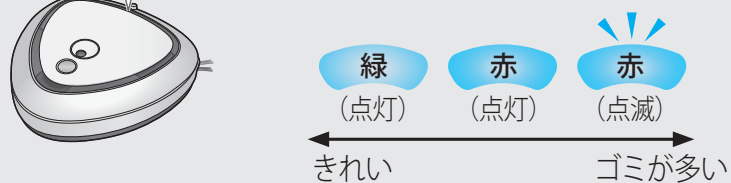


押す



- ボタンを押したあとすぐにスタートしますので、すぐにふたを開けてください。（ふたが開いていてもスタートします）

お掃除中は、
ハウスダスト発見ランプが光って、
見えないゴミをお知らせします。
(花粉などの微細なハウスダストまで検知します)



- ハウスダスト発見センサーに連動して、自動で吸込力を調整します。
ゴミが多いときは、ゆっくり丁寧にお掃除します。
- センサーの感度を変えるには、「設定を変更する」(P.27)を参照してください。

お知らせ ●充電台に戻るときは光りません。

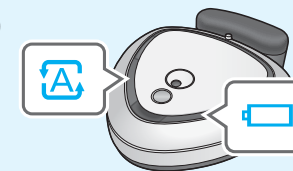
お願い

- 別の部屋に行かせたくない場合はドアを閉めてください。

お知らせ

- バックするときは、障害物を検知しないため、ぶつかるおそれがあります。
- 充電台以外からスタートしても掃除できます。
- お掃除中は充電台を避けながら走行します。

- お掃除終了と判断すると、自動で充電台に戻ります。
(自動で戻らないときは、本体を手で運ぶ、または **ホーム** を押して充電台に戻してください)
- 運転時間は部屋の広さとゴミ量により自動で決定します。
充電台の位置、家具の配置、ゴミ量などにより、同じ部屋の大きさでも運転時間が異なる場合があります。
- 運転中、電池残量がわずかになり、 が点滅したときは充電台に戻り、約90分充電後に掃除を再開します。
(充電中は、・ が明滅)



- 終了後は本体を手で運ぶ、または **ホーム** を押して充電台に戻してください。

お知らせ

- 使用状況によっては、**ホーム** を押しても充電台に戻らない場合があります。(P.31)

ゴミを捨てる(お手入れ)

**ゴミがたまると
ランプがお知らせ！**
(音声でもお知らせします)

ゴミすてランプ(赤色)が
光ったら…

ゴミを捨て、お手入れして
ください。




ゴミのたまり方は、ゴミの種類によって異なります。

お知らせ

- ゴミが少なくても吸気路にゴミがあると、ランプが点灯することがあります。
(ダストボックスを取り出し、吸気路のゴミを取り除く)
- 新しいじゅうたんでは、ダストボックスが遊び毛で早くいっぱいになります。

お願い

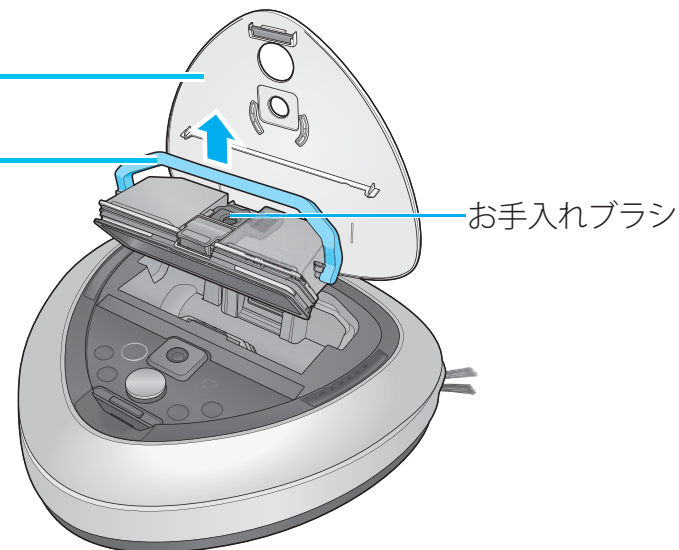
-  が点灯しなくても、週1回はゴミを捨ててください。

ダストボックスのゴミを捨てる

1

ふたを開けて

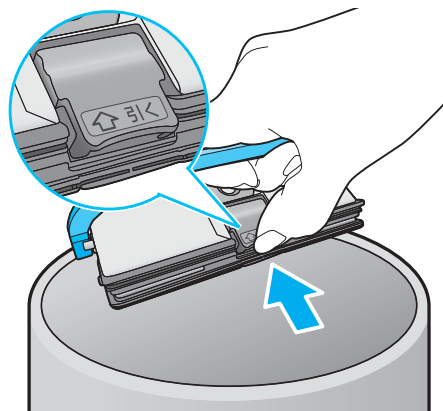
ダストボックスを取り出す



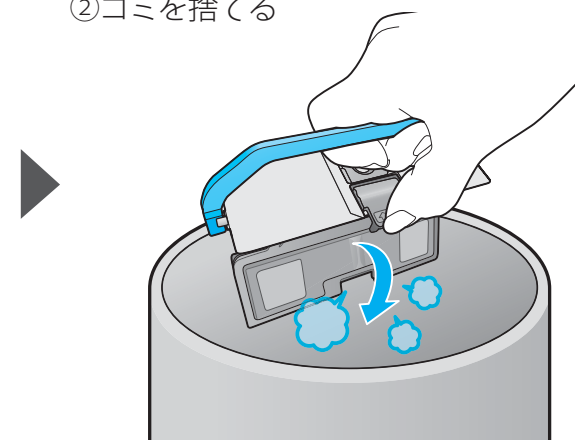
2

ゴミを捨てる

①「引く」部を引き上げ

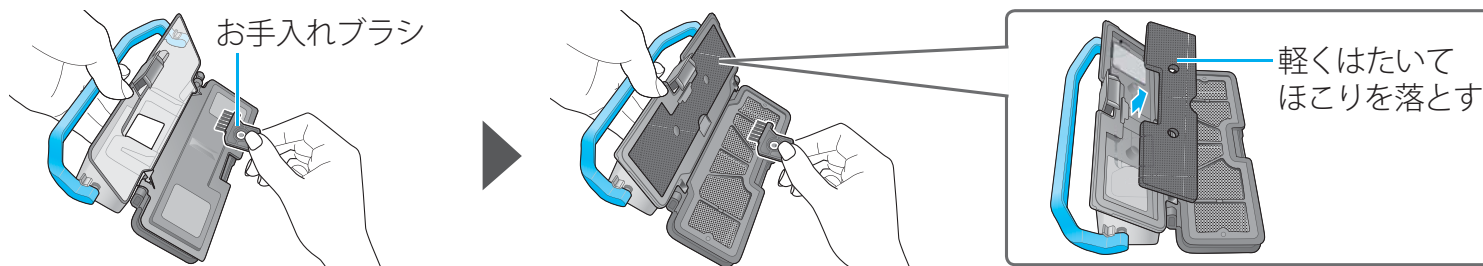


②ゴミを捨てる



お手入れする

1 ゴミやほこりなどを しっかりと取り除く



お願い ●お手入れブラシを強く押しつけないでください。(破れる原因)

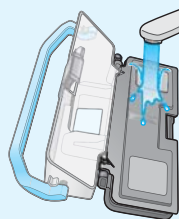


汚れが気になるときは
水洗いもできます
(十分に乾燥させてから戻す)

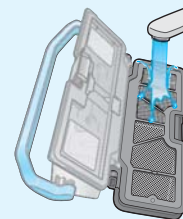
■ダストボックス



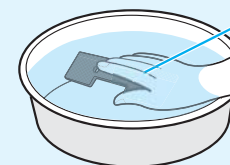
■ネットフィルター



■フィルター



■スポンジフィルター



押し洗いする

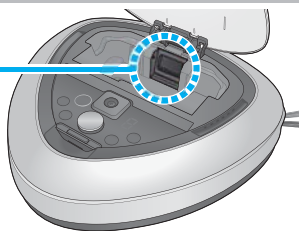
- もみ洗いや洗濯機洗いをしない
(縮みや変形の原因)
- 十分に乾燥させる

お願い

- 洗剤・ベンジン・シンナー・アルコールなどを使わないでください。(ひび割れや変色の原因)
- 風通しのよい場所に約24時間置き、十分に乾燥させてください。(においの発生や目詰まりの原因)
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。(変形や故障の原因)

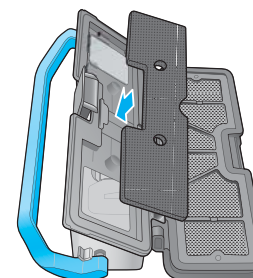
2 吸気路のゴミを取り除く

- 取れないときは、回転ブラシを取り外してお手入れしてください。(P.22)

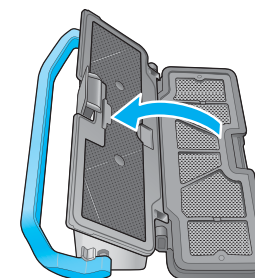


3 ダストボックスを元に戻し、本体にセットする

- ダストボックスが確実にセットされていないと、運転できません。



①スポンジフィルターを取り付け



②ダストボックスを閉じる

お手入れする

お知らせ表示・エラー表示(P.28)のとき / ゴミが絡みついたとき / 気になったとき

お手入れの前には電源を切り(P.9)、充電台の電源プラグを抜いてください。

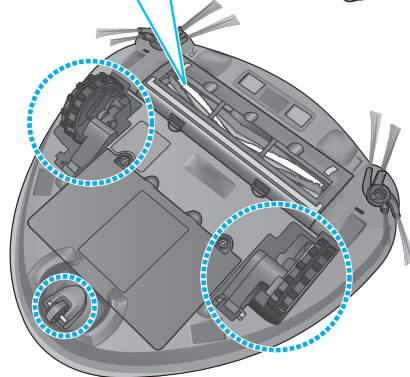
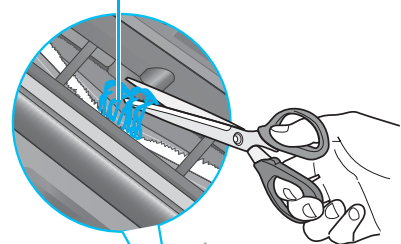
本体裏面・回転ブラシ・ブラシカバー

部分のゴミを取り除く



回転ブラシ・ブラシカバーを除く

絡まったゴミなどは、溝に沿ってはさみで切る

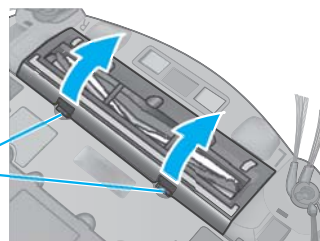


●巻きついた髪の毛などは、ピンセットなどで取り除く

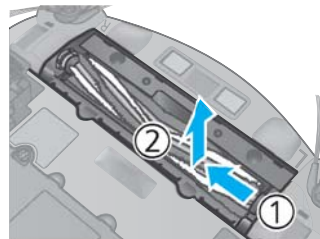
■回転ブラシ・ブラシカバーを水洗いしたいとき

1 ブラシカバーを外す

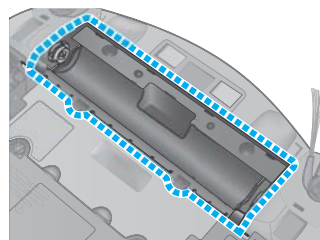
フックを押さえながら、矢印方向に引き上げる



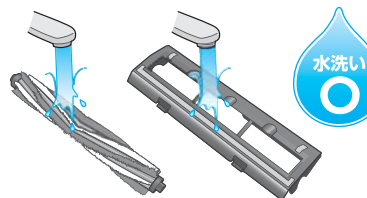
2 回転ブラシを外す



3 部分のゴミを取り除く



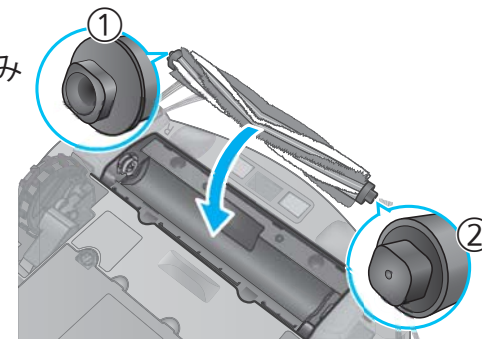
4 回転ブラシ・ブラシカバーを水洗いし、十分に乾燥させる



■取り付けは

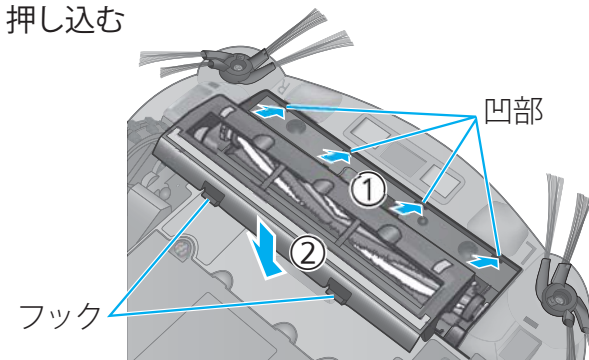
1 回転ブラシを本体にセットする

①をはめ込み
②をはめる



2 ブラシカバーをセットする

①本体の凹部(4か所)に、ブラシカバーのつめをはめ込み
②フック(2か所)をカチッと音がするまで押し込む

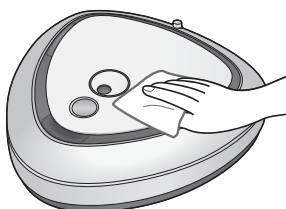


●サイドブラシを挟まないように取り付ける

本体・充電台

柔らかい布で水拭きする

●固く絞る

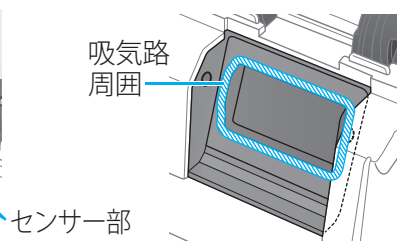
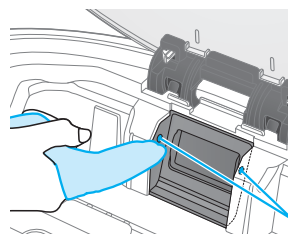


ハウスダスト発見センサー

ハウスダスト発見ランプのつき方がおかしいとき
ゴミを捨てても [点灯] が点灯するとき

柔らかい布で
から拭きする

吸気路周囲の
ゴミを取り除く



センサー部

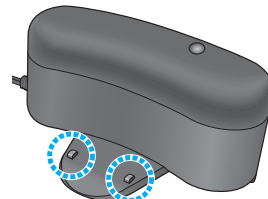
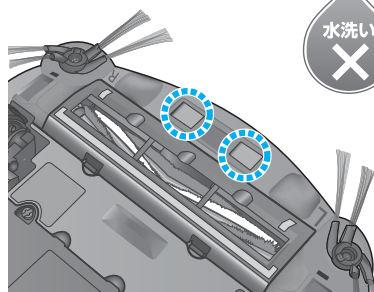


お願い

- 水洗いしたときは…
 - ・水気を切り、十分に乾燥させてください。
(においの発生や目詰まりの原因)
 - ・ドライヤーなどの熱風を当てないでください。
(回転ブラシ・ブラシカバー：変形や故障の原因)
- 洗剤やベンジン、シンナー、アルコールなどを使わないでください。(ひび割れや変色の原因)
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

充電端子

○部分のゴミを取り除く



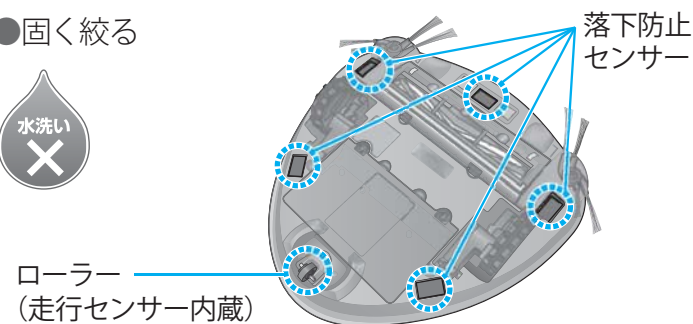
充電台

センサー部・赤外線送受信部

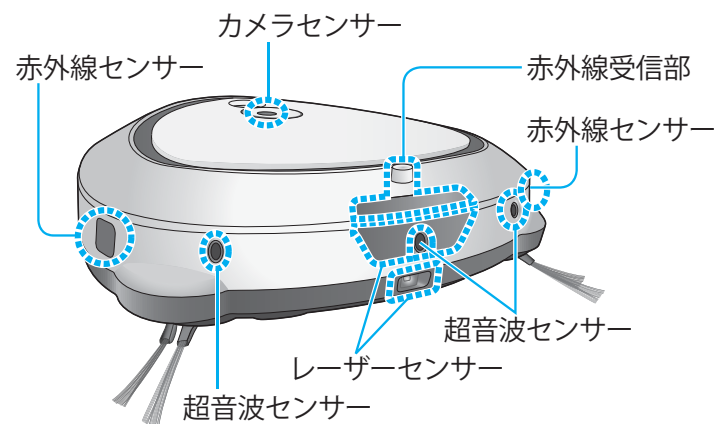
○部分を
柔らかい布で水拭きする

月1回程度

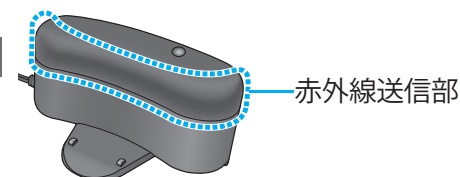
●固く絞る



ローラー
(走行センサー内蔵)



充電台



赤外線送信部

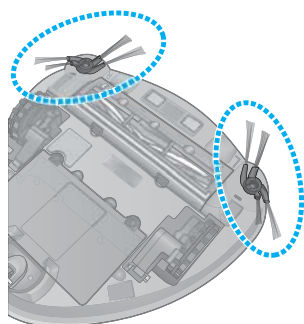
お手入れする (つづき)

エラー表示(P.28)のとき / ゴミが絡みついたとき / 気になったとき

お手入れの前には電源を切り(P.9)、充電台の電源プラグを抜いてください。

サイドブラシ

● 部分の絡みついたゴミを取り除く

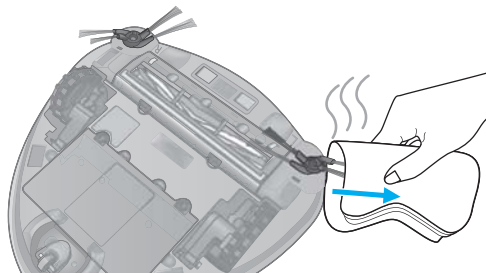


- 巻きついた髪の毛などは、ピンセットなどで取り除く
- サイドブラシが回らない、回りにくい場合は、回転ブラシを外して(P.22)、サイドブラシを回しながらお手入れする(回転ブラシを外すと、サイドブラシを軽く回せます)

サイドブラシのお手入れ

(ブラシの毛が曲がったとき、広がったときなど)

- お湯を含ませた布で、サイドブラシを10秒ほど挟み込み、引っ張るようにぬぐい取る



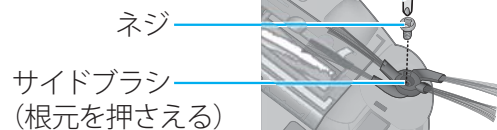
お知らせ

- サイドブラシは消耗品です。床面の種類によっては、摩耗度合いが異なります。毛が抜けたり、破損したりしたときは、サイドブラシを交換してください。
 - サイドブラシ(別売)は、販売店でお買い求めいただけます。(P.50)

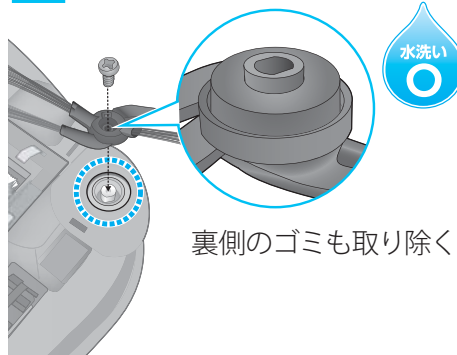
■ サイドブラシを外してゴミを取り除くとき

1 サイドブラシを外す

- ① サイドブラシを押さえながら
- ② ネジを外す

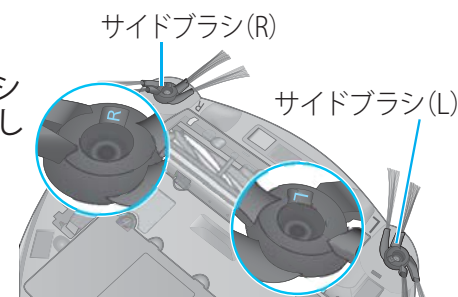


2 ● 部分のゴミを取り除く

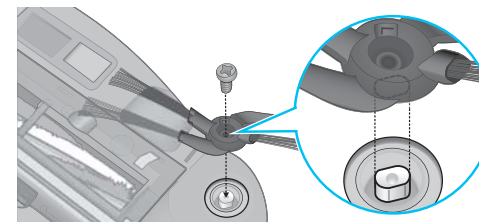


■ 取り付けは

1 サイドブラシを左右確認し



2 確実にはめ込み、ネジを元どおりに締める



お願い

- 水洗いしたときは…
 - 水気を切り、十分に乾燥させてください。(においの発生や目詰まりの原因)
 - ドライヤーなどの熱風を当てないでください。(サイドブラシ：変形や故障の原因)
- 洗剤やベンジン、シンナー、アルコールなどを使わないでください。(ひび割れや変色の原因)
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- サイドブラシには髪の毛などのゴミが付きやすいため、こまめに確認しお手入れしてください。

電池を交換する

電池は消耗品です！

正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。電池を交換してください。

- 電池(別売)は、販売店でお買い求めいただけます。(P.50)

充電式リチウムイオン電池について

繰り返しで使用になりますと使用時間が徐々に短くなります。

電池の寿命は周囲温度・使用時間など、ご使用の条件により、充放電回数(寿命)が短くなります。



Li-ion20

リサイクルへのご協力のお願い

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み電池の取り扱いについて

- コネクタをセロハンテープやビニールテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

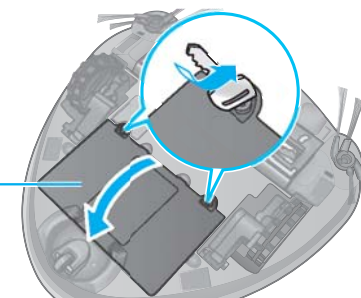
お願い

- 電池は、運転が完全に停止するまで放電させて、電源を切ってから取り出してください。(故障のおそれ)

1

電源を切り(P.9)、電池カバーを取り外す

- カギの頭などでネジを回し、電池カバーを取り外す

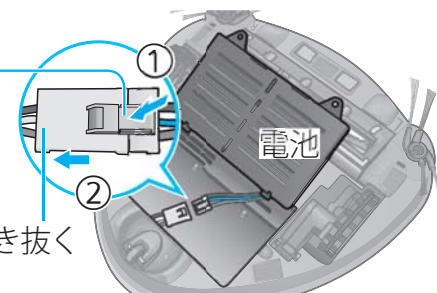


2

電池を取り出し、コネクタを外す

- ①コネクタのつまみを押しながら

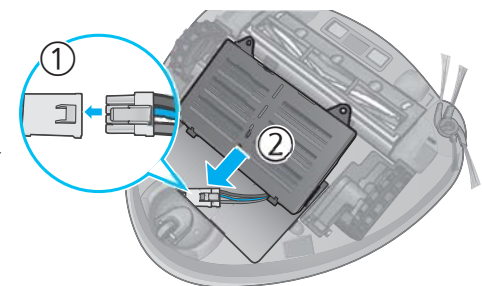
- ②コネクタを引き抜く



3

新しい電池をセットする

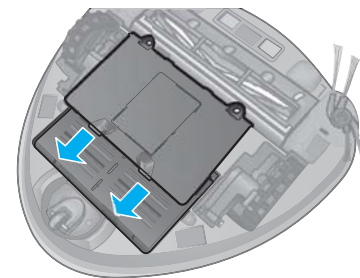
- ①新しい電池のコネクタを「カチッ」と音がするまで差し込み
- ②電池をセットする



4

電池カバーを取り付ける

- 電池カバーを取り付け、ネジを締める



お手入れする

必要なとき

お掃除レポート

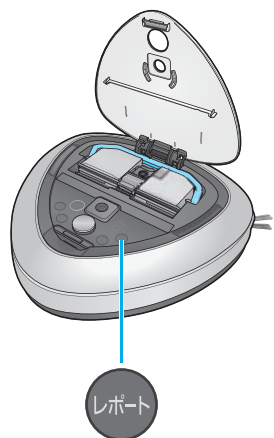
お掃除結果を、 音声でお知らせ！

こんなときは…

- 途中で止まっていたけど、お掃除したのかな？
- 予約設定しておいたけど、本当にお掃除したのかな？

→「レポート」ボタンを押す

お掃除結果をお知らせします。
運転時間が1分以上のときは、
掃除時間もお知らせします。



- 本体がスリープ状態のときは、
スタート/ストップボタンを押して
スタンバイ状態にしましょう。(P.9)

■お掃除が正常に終了したとき

音声ガイド	お掃除結果
〇〇モードで掃除しました。掃除時間は〇〇です。	〇〇モードでお掃除した
予約時間に〇〇モードで掃除しました。掃除時間は〇〇です。	〇〇モードの予約でお掃除した

■お掃除の途中で充電台に戻ったとき

音声ガイド	お掃除結果
掃除再開待ちです。掃除時間は〇〇です。	お掃除の途中、電池残量が少なくなり充電台に戻った
掃除再開待ちです。ダストボックスをお手入れしてください。 掃除時間は〇〇です。	

■エラーで停止したとき



音声ガイド	お掃除結果	
ゴミがいっぱいのため掃除を中断しました。ダストボックスをお手入れしてください。掃除時間は〇〇です。	ダストボックスがいっぱいになり、お掃除を中断して充電台に戻った	
掃除ができませんでした。ダストボックスをお手入れしてください。	ダストボックスがいっぱいになり、予約時間にお掃除できなかった	
掃除ができませんでした。電池がなくなりました。	電池残量がわずかになり、予約時間にお掃除できなかった	
充電台が見つかりませんでした。掃除時間は〇〇です。	充電台を見つけられず停止した、または充電台に戻る途中に電池がなくなり停止した	
(エラーの内容をお知らせ)掃除時間は〇〇です。	エラー表示 (P.28)	エラーコード「U25」を表示
(エラーの内容をお知らせ)		エラーコード「U26」「U27」を表示
エラーで停止しました。(エラーの内容をお知らせ)掃除時間は〇〇です。		上記以外のエラーコード「U〇〇」を表示
エラーで停止しました。掃除時間は〇〇です。		エラーコード「H〇〇」を表示

設定を変更する／初期の設定に戻す

各設定の変更をします。

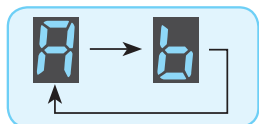
- 音・音声の大きさ
- ハウスダスト発見センサーの感度


1 ● 本体がスリープ状態のときは、スタート/ストップボタンを押してスタンバイ状態にしましょう。(P.9)

を押す(3秒以上) → が表示

2 変更する内容を選ぶ

を押すたびに切り替わる



を押す → 現在の設定を表示


音声ガイドや
効果音の大きさを
変更する

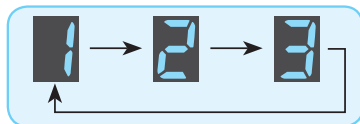
を選ぶ


ハウスダスト発見
センサーの
感度を変更する


を選ぶ


3 お好みの設定を選ぶ

を押すたびに切り替わる



を押す → 設定完了

—小

—中
(お買い上げ時)

—大

—てがる




—ふつう
(お買い上げ時)



—しっかり

設定した内容を初期の設定 (お買い上げ時の状態)に戻します。

1 ● 本体がスリープ状態のときは、スタート/ストップボタンを押してスタンバイ状態にしましょう。(P.9)

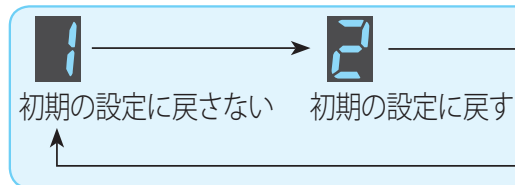
を押す(3秒以上) → が表示

2 を押す → ・が交互に表示

を押す → が表示

3 設定を選ぶ

を押すたびに切り替わる





を押す → 完了



必要なとき

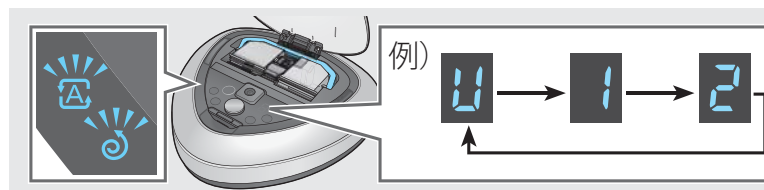
音声ガイド(お知らせ表示・エラー表示)

音声ガイドで、お知らせ表示の内容を案内！





■音声ガイドが流れたときは、お知らせ表示(ランプの状態)を確認し、対処してください。












音声ガイド	お知らせ表示 (ランプの状態)	ここを確認
ダストボックスをお手入れしてください。	 点灯	ダストボックスがゴミでいっぱいです。(P.20) ハウスダスト発見センサーが汚れていませんか？→お手入れする(P.23)
電池がなくなりました。	 点滅	電池残量がわずかです。→充電台に戻りきるまでしばらく待つ、または本体を手で運んで充電台に戻す
充電してください。		電池がなくなりました。→充電する(P.13)

■音声ガイドが流れ、  が同時に点滅しているときは、ふたを開けてエラー表示(エラーコード)を確認し、対処してください。




- 「U」または「H」から順番に数字が切り替わり、エラーコードを表示します。(約5分間)
- スタート/ストップボタンを押すと、表示を消すことができます。
- 「レポート」ボタンを押すと再度表示します。


音声ガイド	エラー表示 (エラーコード)	ここを確認
ブラシが回転していません。 確認してください。		回転ブラシ・サイドブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていますか？ →異物を取り除く(P.22、24)
タイヤが回転していません。 確認してください。		タイヤに糸くずなどの異物が絡みついていますか？ →異物を取り除く(P.22)
後ろのローラーが回転していません。 確認してください。		本体が移動の途中で止まっていたり、段差に乗り上げたりしていませんか？ ローラーに異物が挟まっていますか？→異物を取り除く(P.22)
バンパーが動いていません。 確認してください。		バンパーに異物が挟まったり、バンパーの動きを妨げたりしている障害物がありますか？ →異物・障害物を取り除く

音声ガイド	エラー表示 (エラーコード)	ここを確認
ダストボックスが入っていません。		ダストボックスがセットされていますか？ →ダストボックスをセットする(P.21)
前面の超音波センサーを確認してください。		超音波センサーが布などでふさがっていたり、汚れたりしていませんか？ →お手入れする(P.23)
側面の赤外線センサーを確認してください。		赤外線センサーが布などでふさがっていたり、汚れたりしていませんか？ →お手入れする(P.23)
裏面の落下防止センサーが働きました。確認してください。		本体が移動の途中で止まっていたり、段差に乗り上げたりしていませんか？ 落下防止センサーが汚れていませんか？→お手入れする(P.23)
裏面の落下防止センサーを確認してください。		落下防止センサーが汚れていませんか？ →お手入れする(P.23)
タイヤが床面から離れました。確認してください。		本体が移動の途中で止まっていたり、段差に乗り上げたりしていませんか？
電池が高温のため、掃除を中断しました。		直射日光が当たるなど、本体を高温の場所で長時間使用していませんか？
電池が高温のため、充電を停止しました。		直射日光が当たるなど、高温の場所で充電していませんか？ (P.13)
電池が低温のため、充電を停止しました。		0℃以下の場所で充電していませんか？ (P.13)
ブラシが回転していません。確認してください。		回転ブラシ・サイドブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていますか？ →異物を取り除く(P.22、24)
タイヤが回転していません。確認してください。		タイヤに糸くずなどの異物が絡みついていますか？ →異物を取り除く(P.22)

■「H」から順番に数字が表示されたときは、点検が必要です。

 表示内容(「H」のあとの2桁の数字)を確認して、すぐに電源を切り、充電台の電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■「E00」が表示されたときは、リコール対象です。


 すぐに充電台の電源プラグを抜いて、リコール専用フリーダイヤルまたは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？


修理を依頼される前に、まず次の項目をご確認ください。

🔍 運転



運転しない

-  が点滅・消灯していませんか？
→充電する (P.13)
- ふたを開け、エラーコードを確認してください。(P.28)
- 電源を切りませんでしたか？ (P.9)
→充電台にセットする

運転中に止まる

- 「レポート」ボタンを押して確認してください。(P.26)
- ふたを開け、エラーコードを確認してください。(P.28)
-  が点滅していませんか？
→充電する (P.13)
- 本体がコードなどに引っ掛かっていませんか？
- 薄いタオルなどの布や、ひもなどがタイヤに巻きついていませんか？
- 本体が段差を乗り越えられずに止まっていますか？
- 黒っぽいじゅうたんや床などの上で止まっていますか？ (P.10)

操作をしていないのに突然動き出す

-  が点灯していませんか？
- 運転中、電池残量がわずかになり  が点滅したときは充電台に戻り、約90分充電後に掃除を再開します。
- 登録されているスマートフォンから遠隔操作していませんか？

速度が変化する

- センサーが障害物を検知したり、走行方向を判断したりするときに、速度を落としたり、う回したりすることがあります。異常ではありません。

まっすぐ進まない

- タイヤ・ローラーに異物が付着していませんか？ (P.22)
- 超音波センサー・赤外線センサー・レーザーセンサー・ローラー(走行センサー内蔵)・カメラセンサーが汚れていませんか？
→お手入れする (P.23)

サイドブラシが回らない、回りにくい

- 回転ブラシ・サイドブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていますか？ (P.22、24)
- 毛足の長さが2 cm以上の敷物(じゅうたんなど)の上では使用できません。また、長さが2 cm未満の場合でも、毛足の材質などによっては運転が停止したり、毛足がサイドブラシに絡みついたりすることがあります。

操作部の左右のランプが 順番(上から下、下から上)に点灯して運転しない

- 本体ソフトウェアのアップデート中です。
終了後、運転できます。

障害物に衝突する、衝突することが増えた

- 超音波センサー・赤外線センサー・レーザーセンサーが汚れていませんか？
→お手入れする (P.23)
- 本体後部には障害物を検知するセンサーがないため、後退したときに衝突する場合があります。
- いすやテーブルなどの脚、暗い色の壁・家具・障子・ふすま・カーテン、キャスターが付いたテレビ台などの床から浮いた家具や器具などには衝突する場合があります。

段差を回避できずに落下する

- 落下防止センサーは約10 cm未満の段差を認識しません。(P.8)
- 落下防止センサーが汚れていませんか？
→お手入れする (P.23)

回転ブラシが止まる

- 回転ブラシ・サイドブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていますか？ (P.22、24)

サイドブラシが外れる

- サイドブラシを正しく取り付けられていますか？ (P.24)

本体・充電台

充電台に戻らない

- 充電台の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？
- 充電台の前方約100 cm、左右約50 cm以内に障害物はありませんか？ (P.12)
- 充電台の下に異物がかみ込んだり、少し浮いたりしていませんか？
- ブラシカバーが確実にセットされていますか？ (P.22)
- 充電台に戻るときは、運転中に比べてゆっくりと動きます。充電台に戻りきるまで、戻る動作を繰り返す場合があります。しばらくお待ちください。
- 本体が充電台の横にあるときは、本体が充電台の赤外線を正しく検知できずに充電台に戻らない場合があります。充電台の正面から約50 cm離れた場所に本体を置き、「ホーム」ボタンを押して、本体が充電台に戻れば、本体は正常に動作しています。
- 本体の赤外線受信部または充電台の赤外線送信部が汚れていませんか？
→お手入れする (P.23)
- 本体のふたが開いていませんか？
- ふたの上に厚手のシールを貼ったり、物を置いたりしていませんか？
- 本体が日光に当たっていたり、赤外線を出す機器（ハロゲンヒーターや他の機器のリモコン）が充電台の近くにあっていませんか？日光や赤外線を出す機器（ハロゲンヒーターや他の機器のリモコン）から発する赤外線が、本体と充電台間の赤外線通信に影響して、本体が充電台に戻なくなることがあります。
→カーテンなどで日光を遮る
(すりガラスから入る日光でも同様のことが起こる場合があります)
→赤外線を出す機器のそばにある場合は、本体や充電台と機器を遠ざける
- 充電台からの距離によっては、充電台まで戻れない場合があります。

本体・充電台が熱い


- 運転中や運転後、充電中に本体・充電台が温かくなりますが、異常ではありません。

充電

充電できない(本体接続ランプが点灯しない)

- 充電台の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？
- 本体が充電台に確実にセットされていますか？
→本体を充電台にセットし直す(正しくセットされていれば、本体接続ランプが点灯)
- 本体または充電台の充電端子に異物などが付着していませんか？
→異物を取り除く (P.23)
- ブラシカバーが確実にセットされていますか？ (P.22)
- 電池のコネクターが確実に差し込まれていますか？ (P.25)

電池残量表示ランプが消えない(充電時間が長い)

- 充電時間は周囲温度・使用時間などの使用条件により、最長8時間かかることがあります。
- 8時間以上充電しても  が消えない場合は、機器の故障と考えられますので、お買い求め先にご相談ください。

本体接続ランプが点滅する

- 本体または充電台の充電端子に異物などが付着していませんか？
→異物を取り除く (P.23)

充電しても運転時間が短い

- 周囲温度が高い所や低い所で充電しませんでしたか？
→室温が5℃～35℃の場所で充電する (P.13)
- 正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。(電池の寿命は、周囲温度・使用時間など、使用条件により異なります)
→電池を交換する (P.25)

故障かな？ (つづき)

修理を依頼される前に、まず次の項目をご確認ください。

音

運転音が高くなった

- ダストボックスがゴミでいっぱいになっていませんか？ (P.20)
- 回転ブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていませんか？ (P.22)
- ダストボックス内(各フィルター)が目詰まりしていませんか？ (P.21)

使用中、運転音に変動する

- 掃除面のゴミ量や床面に合わせて自動で吸込力を調整します。異常ではありません。

使用中、サイドブラシから音(パタパタ)がする

- 故障ではありません。
床面の種類や状態によっては、サイドブラシから回転音がすることがあります。

ハウスダスト発見ランプ

ゴミを吸っていないのにランプ(赤)が点滅・点灯する

ゴミを吸ってもランプ(赤)が点滅・点灯しない

- ハウスダスト発見センサーにゴミやほこりが付着していませんか？
→お手入れする(P.23)
- ダストボックスからゴミがあふれていませんか？
→ゴミを捨てる(P.20)

ランプがなかなか赤から緑にならない

- ハウスダスト発見センサーにゴミやほこりが付着していませんか？
→お手入れする(P.23)
- ダストボックスからゴミがあふれていませんか？
→ゴミを捨てる(P.20)
- 新しいじゅうたんなどでは、ランプ(赤)が点灯する頻度が多くなります。(遊び毛を検知)
→わざわざしいときは、センサーの感度を「てがる」に設定する(P.27)

ゴミすてランプ

ゴミが少ないのにランプが点灯する

- ハウスダスト発見センサーにゴミやほこりが付着していませんか？
→お手入れする(P.23)
- 吸気路にゴミがありませんか？
→吸気路のゴミを取り除く(P.21)

におい

排気からゴミのにおいがする

- においの強いゴミを吸ったまま放置していませんか？
→運転を繰り返しても気になるときは、ゴミを捨てる(P.20)
→ダストボックス内(各フィルター)をお手入れする(P.21)

確認後、なお異常があるとき

- お買い求め先まで保証書を添えて、製品(本体・電池・充電台)をご持参ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」(P.51)をご参照ください。

遠隔操作・「RULOナビ」アプリ Q&A

タブレット端末は使えますか？	▶ 「RULOナビ」アプリはタブレット端末には対応していません。(動作保証していません)
専用アプリがないと使えませんか？	▶ スマートフォンから本機の操作をしたり、お掃除記録を確認したりするには、専用の「RULOナビ」アプリが必要です。
「RULOナビ」アプリは無料ですか？	▶ 無料です。ただし、アプリのダウンロードやサービスのご利用には、別途通信料がかかります。
ロボット掃除機と接続できる無線LANルーターを教えてください。	▶ IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n (2.4 GHz 帯)のいずれかに対応した無線LANルーターと接続できます。ただし、すべての無線LANルーターを動作保証するものではありません。
モバイルルーターは使えますか？	▶ モバイルルーターは動作保証していません。
ロボット掃除機のMACアドレスを調べたい。	▶ 「詳細接続設定」で設定を進めていくと、途中でアプリ画面にロボット掃除機のMACアドレスが表示されます。
アプリでロボット掃除機の登録(My 家電登録)をしないと使えませんか？	▶ ロボット掃除機の情報に登録することで、スマートフォンからロボット掃除機の遠隔操作ができるようになります。パソコンなどから「ご愛用者登録」を済ませている場合も、アプリでもう一度ロボット掃除機の登録(My 家電登録)を行ってください。
家族それぞれのスマートフォンから「RULOナビ」アプリを使えますか？	▶ 使えます。 ▶ それぞれが「CLUB Panasonic」の会員になり、2台目以降のスマートフォンでもロボット掃除機の登録(My 家電登録)を行ってください。
家族で同じIDを使っても大丈夫？	▶ 「CLUB Panasonic」会員利用規約では、お一人ずつ会員になっていただくことを推奨しています。
ロボット掃除機の遠隔操作ランプ(青色)が点灯していないと、アプリは使えませんか？	▶ スマートフォンから運転開始・停止、充電台(ホーム)へ戻すなどの操作や予約設定を本体が受け付けません。その他の操作は、ランプが点灯していなくても使えます。
ロボット掃除機で遠隔操作を中止することはできますか？	▶ できます。 ▶ 運転を停止させ、ふたを開けて「遠隔操作」ボタンを押し、遠隔操作ランプ(青色)を消灯させてください。遠隔操作を中止します。(再度押すと、遠隔操作ランプ(青色)が点灯し、遠隔操作が可能になります)
ロボット掃除機とスマートフォンの接続をやめたい。(購入時の状態に戻したい)	▶ 次のようなときは、初期の設定に戻す(P.27)ことをお勧めします。 <ul style="list-style-type: none">• ロボット掃除機を廃棄または譲渡するとき• 不正アクセスによる使用が疑われるとき• アプリを使用中、動作に異常があったとき• ロボット掃除機のインターネット接続をやめるとき

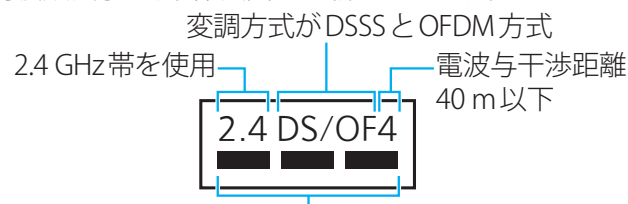
内蔵無線LAN使用上のお願い

■使用周波数帯

内蔵無線LANは2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記項目に留意してご使用ください。

■周波数表示の見方

周波数表示は、本体裏面に記載しています。



2.4 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、無線アクセス機能ご相談窓口(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、無線アクセス機能ご相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。

■機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を内蔵していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解／改造する
- 定格銘板および内蔵無線装置の適合表示を消す

■使用制限

使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線LANの使用または使用不能から生じる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク(SSID※)が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- 磁場、静電気、電波障害が発生するところで使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
 - 電子レンジ
 - 他の無線LAN機器
 - その他2.4 GHz帯の電波を使用する機器(デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)
 - 電波が反射しやすい金属物など
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

※ 無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

- 本機のSSIDについて
SSID：Panasonic-MC-wirelessAP
パスワード：mc0123456

■セキュリティ対策

- 無線LANは電波を使ってデータを送受信するため、不正なアクセスを受けるおそれがあります。データの安全を確保するため、セキュリティ対策を行ってください。(P.14)
セキュリティ対策を実施せず問題が発生した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 無線LANルーターのパスワード(暗号化キー)は、8文字以上、63文字以下に設定し、定期的に変更することをおすすめします。
(文字数の制限は無線LANルーターの取扱説明書をご確認ください)

■ファームウェアについて

- 本機は、インターネットを通じて当社のファームウェアアップデートサーバーに接続し、自身のファームウェアを自動で最新版に更新する機能を持っています。更新中は無線通信が一時中断されるため、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
- ファームウェアの解析、改造は行わないでください。

■使用可能距離

見通し距離約10 m以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

著作権など

- Android及びGoogle PlayはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- “Wi-Fi”は、“Wi-Fi Alliance”の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”は、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- “Wi-Fi Protected Setup™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では™、®マークは一部記載していません。



■ソフトウェアについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/ap/>

boost

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

busybox

--- A note on GPL versions

BusyBox is distributed under version 2 of the General Public License (included in its entirety, below). Version 2 is the only version of this license which this version of BusyBox (or modified versions derived from this one) may be distributed under.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular

circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them

to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision
comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain
conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

curl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2015, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

dhcpcd

Copyright (c) The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

glibc

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the

software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the

Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the

sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to

deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also

called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents

of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you

may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

libevent

Libevent is available for use under the following license, commonly known as the 3-clause (or "modified") BSD license:

=====
Copyright (c) 2000-2007 Niels Provos <provos@citi.umich.edu>
Copyright (c) 2007-2012 Niels Provos and Nick Mathewson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions of Libevent are based on works by others, also made available by them under the three-clause BSD license above. The copyright notices are available in the corresponding source files; the license is as above. Here's a list:

log.c:

Copyright (c) 2000 Dug Song <dugsong@monkey.org>
Copyright (c) 1993 The Regents of the University of California.

strlcpy.c:

Copyright (c) 1998 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com>

win32select.c:

Copyright (c) 2003 Michael A. Davis <mike@datanerds.net>

evport.c:

Copyright (c) 2007 Sun Microsystems

ht-internal.h:

Copyright (c) 2002 Christopher Clark

minheap-internal.h:

Copyright (c) 2006 Maxim Yegorushkin <maxim.yegorushkin@gmail.com>

=====

The arc4module is available under the following, sometimes called the "OpenBSD" license:

Copyright (c) 1996, David Mazieres <dm@uun.org>
Copyright (c) 2008, Damien Miller <djm@openbsd.org>

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

liblog

Copyright (c) 2005-2014, The Android Open Source Project

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices

that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

linux

NOTE! This copyright does "not" cover user programs that use kernel services by normal system calls - this is merely considered normal use of the kernel, and does "not" fall under the heading of "derived work". Also note that the GPL below is copyrighted by the Free Software Foundation, but the instance of code that it refers to (the Linux kernel) is copyrighted by me and others who actually wrote it.

Also note that the only valid version of the GPL as far as the kernel is concerned is _this_ particular version of the license (ie v2, not v2.2 or v3.x or whatever), unless explicitly otherwise stated.

Linus Torvalds

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as

you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for

permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision
comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain
conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a

sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

openssl

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/*
 * Copyright (c) 1998-2016 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,
 * are permitted provided that the following conditions are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation
 * and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must
 * display the following acknowledgment:
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 * for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 * endorse or promote products derived from this software without prior written
 * permission. For written permission, please contact
 * openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 * nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of
 * the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 * acknowledgment:
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in
 * the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
 * LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND
 * FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT
 * SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR
 * ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
 * CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
 * PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED
 * AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING
 * IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
 * THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 */
```

* This product includes cryptographic software written by Eric Young
(eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.

* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as the
* following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code
* found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the
* SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the
* same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code
* are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should
* be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in
* the form of a textual message at program startup or in documentation (online or
* textual) provided with the package.

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,
* are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
* PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
* AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
* GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
* INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
* OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

sysvinit

Sysvinit is Copyright (C) 1991-2004 Miquel van Smoorenburg

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

On Debian GNU/Linux systems, the complete text of the GNU General Public License can be found in `/usr/share/common-licenses/GPL-2`.

Send patches to `sysvinit-devel@nongnu.org`

The of the start-stop-daemon

* A rewrite of the original Debian's start-stop-daemon Perl script
* in C (faster - it is executed many times during system startup).

* Written by Marek Michalkiewicz <marekm@i17linuxb.ists.pwr.wroc.pl>,
* public domain.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium

customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates

the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

wpa-supplciant

wpa_supplciant and hostapd

Copyright (c) 2002-2015, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

These programs are licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

This package may include either wpa_supplciant, hostapd, or both. See README file respective subdirectories (wpa_supplciant/README or hostapd/README) for more details.

Source code files were moved around in v0.6.x releases and compared to earlier releases, the programs are now built by first going to a subdirectory (wpa_supplciant or hostapd) and creating build configuration (.config) and running 'make' there (for Linux/BSD/cygwin builds).

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT

NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

zlib

(C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate "not" receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

zlib License

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

DBoW2

DBoW2: bag-of-words library for C++ with generic descriptors

Copyright (c) 2015 Dorian Galvez-Lopez. <http://doriangalvez.com>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The original author of the work must be notified of any redistribution of source

code or in binary form.

4. Neither the name of copyright holders nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

g2o

g2o - General Graph Optimization
Copyright (C) 2011 Rainer Kuemmerle, Giorgio Grisetti, Hauke Strasdat, Kurt Konolige, and Wolfram Burgard
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libeigen

Mozilla Public License Version 2.0

1. Definitions

- 1.1. "Contributor"
means each individual or legal entity that creates, contributes to the creation of, or owns Covered Software.
- 1.2. "Contributor Version"
means the combination of the Contributions of others (if any) used by a Contributor and that particular Contributor's Contribution.
- 1.3. "Contribution"
means Covered Software of a particular Contributor.
- 1.4. "Covered Software"
means Source Code Form to which the initial Contributor has attached the notice in Exhibit A, the Executable Form of such Source Code Form, and

Modifications of such Source Code Form, in each case including portions thereof.

- 1.5. "Incompatible With Secondary Licenses"
means
- (a) that the initial Contributor has attached the notice described in Exhibit B to the Covered Software; or
 - (b) that the Covered Software was made available under the terms of version 1.1 or earlier of the License, but not also under the terms of a Secondary License.
- 1.6. "Executable Form"
means any form of the work other than Source Code Form.
- 1.7. "Larger Work"
means a work that combines Covered Software with other material, in a separate file or files, that is not Covered Software.
- 1.8. "License"
means this document.
- 1.9. "Licensable"
means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently, any and all of the rights conveyed by this License.
- 1.10. "Modifications"
means any of the following:
- (a) any file in Source Code Form that results from an addition to, deletion from, or modification of the contents of Covered Software; or
 - (b) any new file in Source Code Form that contains any Covered Software.
- 1.11. "Patent Claims" of a Contributor
means any patent claim(s), including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by such Contributor that would be infringed, but for the grant of the License, by the making, using, selling, offering for sale, having made, import, or transfer of either its Contributions or its Contributor Version.
- 1.12. "Secondary License"
means either the GNU General Public License, Version 2.0, the GNU Lesser General Public License, Version 2.1, the GNU Affero General Public License, Version 3.0, or any later versions of those licenses.
- 1.13. "Source Code Form"
means the form of the work preferred for making modifications.
- 1.14. "You" (or "Your")
means an individual or a legal entity exercising rights under this License. For legal entities, "You" includes any entity that controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. License Grants and Conditions

2.1. Grants

Each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license:

- (a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by such Contributor to use, reproduce, make available, modify, display, perform, distribute, and otherwise exploit its Contributions, either on an unmodified basis, with Modifications, or as part of a Larger Work; and
- (b) under Patent Claims of such Contributor to make, use, sell, offer for sale, have made, import, and otherwise transfer either its Contributions or its Contributor Version.

2.2. Effective Date

The licenses granted in Section 2.1 with respect to any Contribution become effective for each Contribution on the date the Contributor first distributes such Contribution.

2.3. Limitations on Grant Scope

The licenses granted in this Section 2 are the only rights granted under this License. No additional rights or licenses will be implied from the distribution or licensing of Covered Software under this License. Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted by a Contributor:

- (a) for any code that a Contributor has removed from Covered Software; or
- (b) for infringements caused by: (i) Your and any other third party's modifications of Covered Software, or (ii) the combination of its Contributions with other software (except as part of its Contributor Version); or
- (c) under Patent Claims infringed by Covered Software in the absence of its Contributions.

This License does not grant any rights in the trademarks, service marks, or logos of any Contributor (except as may be necessary to comply with the notice requirements in Section 3.4).

2.4. Subsequent Licenses

No Contributor makes additional grants as a result of Your choice to distribute the Covered Software under a subsequent version of this License (see Section 10.2) or under the terms of a Secondary License (if permitted under the terms of Section 3.3).

2.5. Representation

Each Contributor represents that the Contributor believes its Contributions are its original creation(s) or it has sufficient rights to grant the rights to its Contributions conveyed by this License.

2.6. Fair Use

This License is not intended to limit any rights You have under applicable copyright doctrines of fair use, fair dealing, or other equivalents.

2.7. Conditions

Sections 3.1, 3.2, 3.3, and 3.4 are conditions of the licenses granted in Section 2.1.

3. Responsibilities

3.1. Distribution of Source Form

All distribution of Covered Software in Source Code Form, including any Modifications that You create or to which You contribute, must be under the terms of this License. You must inform recipients that the Source Code Form of the Covered Software is governed by the terms of this License, and how they can obtain a copy of this License. You may not attempt to alter or restrict the recipients' rights in the Source Code Form.

3.2. Distribution of Executable Form

If You distribute Covered Software in Executable Form then:

- (a) such Covered Software must also be made available in Source Code Form, as described in Section 3.1, and You must inform recipients of the Executable Form how they can obtain a copy of such Source Code Form by reasonable means in a timely manner, at a charge no more than the cost of distribution to the recipient; and
- (b) You may distribute such Executable Form under the terms of this License, or sublicense it under different terms, provided that the license for the Executable Form does not attempt to limit or alter the recipients' rights in the Source Code Form under this License.

3.3. Distribution of a Larger Work

You may create and distribute a Larger Work under terms of Your choice, provided that You also comply with the requirements of this License for the Covered Software. If the Larger Work is a combination of Covered Software with a work governed by one or more Secondary Licenses, and the Covered Software is not incompatible With Secondary Licenses, this License permits You to additionally distribute such Covered Software under the terms of such Secondary License(s), so that the recipient of the Larger Work may, at their option, further distribute the Covered Software under the terms of either this License or such Secondary License(s).

3.4. Notices

You may not remove or alter the substance of any license notices (including

copyright notices, patent notices, disclaimers of warranty, or limitations of liability) contained within the Source Code Form of the Covered Software, except that You may alter any license notices to the extent required to remedy known factual inaccuracies.

3.5. Application of Additional Terms

You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Software. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity, or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify every Contributor for any liability incurred by such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer. You may include additional disclaimers of warranty and limitations of liability specific to any jurisdiction.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Software due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be placed in a text file included with all distributions of the Covered Software under this License. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Termination

5.1. The rights granted under this License will terminate automatically if You fail to comply with any of its terms. However, if You become compliant, then the rights granted under this License from a particular Contributor are reinstated (a) provisionally, unless and until such Contributor explicitly and finally terminates Your grants, and (b) on an ongoing basis, if such Contributor fails to notify You of the non-compliance by some reasonable means prior to 60 days after You have come back into compliance. Moreover, Your grants from a particular Contributor are reinstated on an ongoing basis if such Contributor notifies You of the non-compliance by some reasonable means, this is the first time You have received notice of non-compliance with this License from such Contributor, and You become compliant prior to 30 days after Your receipt of the notice.

5.2. If You initiate litigation against any entity by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions, counter-claims, and cross-claims) alleging that a Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then the rights granted to You by any and all Contributors for the Covered Software under Section 2.1 of this License shall terminate.

5.3. In the event of termination under Sections 5.1 or 5.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or Your distributors under this License prior to termination shall survive termination.

6. Disclaimer of Warranty

* Covered Software is provided under this License on an "as is" basis, without
* warranty of any kind, either expressed, implied, or statutory, including, without
* limitation, warranties that the Covered Software is free of defects, merchantable,
* fit for a particular purpose or non-infringing. The entire risk as to the quality and
* performance of the Covered Software is with You. Should any Covered
* Software prove defective in any respect, You (not any Contributor) assume the
* cost of any necessary servicing, repair, or correction. This disclaimer of warranty
* constitutes an essential part of this License. No use of any Covered Software is
* authorized under this License except under this disclaimer.

7. Limitation of Liability

* Under no circumstances and under no legal theory, whether tort (including
* negligence), contract, or otherwise, shall any Contributor, or anyone who
* distributes Covered Software as permitted above, be liable to You for any direct,

* indirect, special, incidental, or consequential damages of any character
* including, without limitation, damages for lost profits, loss of goodwill, work
* stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial
* damages or losses, even if such party shall have been informed of the possibility
* of such damages. This limitation of liability shall not apply to liability for death or
* personal injury resulting from such party's negligence to the extent applicable
* law prohibits such limitation. Some jurisdictions do not allow the exclusion or
* limitation of incidental or consequential damages, so this exclusion and limitation
* may not apply to You.

8. Litigation

Any litigation relating to this License may be brought only in the courts of a jurisdiction where the defendant maintains its principal place of business and such litigation shall be governed by laws of that jurisdiction, without reference to its conflict-of-law provisions. Nothing in this Section shall prevent a party's ability to bring cross-claims or counter-claims.

9. Miscellaneous

This License represents the complete agreement concerning the subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not be used to construe this License against a Contributor.

10. Versions of the License

10.1. New Versions

Mozilla Foundation is the license steward. Except as provided in Section 10.3, no one other than the license steward has the right to modify or publish new versions of this License. Each version will be given a distinguishing version number.

10.2. Effect of New Versions

You may distribute the Covered Software under the terms of the version of the License under which You originally received the Covered Software, or under the terms of any subsequent version published by the license steward.

10.3. Modified Versions

If you create software not governed by this License, and you want to create a new license for such software, you may create and use a modified version of this License if you rename the license and remove any references to the name of the license steward (except to note that such modified license differs from this License).

10.4. Distributing Source Code Form that is Incompatible With Secondary Licenses

If You choose to distribute Source Code Form that is Incompatible With Secondary Licenses under the terms of this version of the License, the notice described in Exhibit B of this License must be attached.

Exhibit A - Source Code Form License Notice

This Source Code Form is subject to the terms of the Mozilla Public License, v. 2.0. If a copy of the MPL was not distributed with this file, You can obtain one at <http://mozilla.org/MPL/2.0/>.

If it is not possible or desirable to put the notice in a particular file, then You may include the notice in a location (such as a LICENSE file in a relevant directory) where a recipient would be likely to look for such a notice.

You may add additional accurate notices of copyright ownership.

Exhibit B - "Incompatible With Secondary Licenses" Notice

This Source Code Form is "Incompatible With Secondary Licenses", as defined by the Mozilla Public License, v. 2.0.

jpeg

The Independent JPEG Group's JPEG software

=====

README for release 9a of 19-Jan-2014

=====

This distribution contains the ninth public release of the Independent JPEG Group's free JPEG software. You are welcome to redistribute this software and to use it for any purpose, subject to the conditions under LEGAL ISSUES, below.

This software is the work of Tom Lane, Guido Vollbeding, Philip Gladstone, Bill Allombert, Jim Boucher, Lee Crocker, Bob Friesenhahn, Ben Jackson, Julian Minguiillon, Luis Ortiz, George Phillips, Davide Rossi, Ge' Weijers, and other members of the Independent JPEG Group.

IJG is not affiliated with the ISO/IEC JTC1/SC29/WG1 standards committee (previously known as JPEG, together with ITU-T SG16).

DOCUMENTATION ROADMAP

=====

This file contains the following sections:

OVERVIEW	General description of JPEG and the IJG software.
LEGAL ISSUES	Copyright, lack of warranty, terms of distribution.
REFERENCES	Where to learn more about JPEG.
ARCHIVE LOCATIONS	Where to find newer versions of this software.
ACKNOWLEDGMENTS	Special thanks.
FILE FORMAT WARS	Software "not" to get.
TO DO	Plans for future IJG releases.

Other documentation files in the distribution are:

User documentation:

install.txt	How to configure and install the IJG software.
usage.txt	Usage instructions for cjpeg, djpeg, jpegtran, rdjpgcom, and wrjpgcom.
*.1	Unix-style man pages for programs (same info as usage.txt).
wizard.txt	Advanced usage instructions for JPEG wizards only.
change.log	Version-to-version change highlights.
Programmer and internal documentation:	
libjpeg.txt	How to use the JPEG library in your own programs.
example.c	Sample code for calling the JPEG library.
structure.txt	Overview of the JPEG library's internal structure.
filelist.txt	Road map of IJG files.
coderrules.txt	Coding style rules --- please read if you contribute code.

Please read at least the files install.txt and usage.txt. Some information can also be found in the JPEG FAQ (Frequently Asked Questions) article. See ARCHIVE LOCATIONS below to find out where to obtain the FAQ article.

If you want to understand how the JPEG code works, we suggest reading one or more of the REFERENCES, then looking at the documentation files (in roughly the order listed) before diving into the code.

OVERVIEW

=====

This package contains C software to implement JPEG image encoding, decoding, and transcoding. JPEG (pronounced "jay-peg") is a standardized compression method for full-color and gray-scale images.

This software implements JPEG baseline, extended-sequential, and progressive compression processes. Provision is made for supporting all variants of these processes, although some uncommon parameter settings aren't implemented yet. We have made no provision for supporting the hierarchical or lossless processes defined in the standard.

We provide a set of library routines for reading and writing JPEG image files, plus two sample applications "cjpeg" and "djpeg", which use the library to perform conversion between JPEG and some other popular image file formats. The library is intended to be reused in other applications.

In order to support file conversion and viewing software, we have included considerable functionality beyond the bare JPEG coding/decoding capability; for example, the color quantization modules are not strictly part of JPEG decoding,

but they are essential for output to colormapped file formats or colormapped displays. These extra functions can be compiled out of the library if not required for a particular application.

We have also included "jpegtran", a utility for lossless transcoding between different JPEG processes, and "rdjpgcom" and "wrjpgcom", two simple applications for inserting and extracting textual comments in JFIF files.

The emphasis in designing this software has been on achieving portability and flexibility, while also making it fast enough to be useful. In particular, the software is not intended to be read as a tutorial on JPEG. (See the REFERENCES section for introductory material.) Rather, it is intended to be reliable, portable, industrial-strength code. We do not claim to have achieved that goal in every aspect of the software, but we strive for it.

We welcome the use of this software as a component of commercial products. No royalty is required, but we do ask for an acknowledgement in product documentation, as described under LEGAL ISSUES.

LEGAL ISSUES

=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2014, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent (now expired), GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

REFERENCES

=====

We recommend reading one or more of these references before trying to understand the innards of the JPEG software.

The best short technical introduction to the JPEG compression algorithm is Wallace, Gregory K. "The JPEG Still Picture Compression Standard", Communications of the ACM, April 1991 (vol. 34 no. 4), pp. 30-44. (Adjacent articles in that issue discuss MPEG motion picture compression, applications of JPEG, and related topics.) If you don't have the CACM issue handy, a PostScript file containing a revised version of Wallace's article is available at <http://www.ijg.org/files/wallace.ps.gz>. The file (actually a preprint for an article that appeared in IEEE Trans. Consumer Electronics) omits the sample images that appeared in CACM, but it includes corrections and some added material. Note: the Wallace article is copyright ACM and IEEE, and it may not be used for commercial purposes.

A somewhat less technical, more leisurely introduction to JPEG can be found in "The Data Compression Book" by Mark Nelson and Jean-loup Gailly, published by M&T Books (New York), 2nd ed. 1996, ISBN 1-55851-434-1. This book provides good explanations and example C code for a multitude of compression methods including JPEG. It is an excellent source if you are comfortable reading C code but don't know much about data compression in general. The book's JPEG sample code is far from industrial-strength, but when you are ready to look at a full implementation, you've got one here...

The best currently available description of JPEG is the textbook "JPEG Still Image Data Compression Standard" by William B. Pennebaker and Joan L. Mitchell, published by Van Nostrand Reinhold, 1993, ISBN 0-442-01272-1. Price US\$59.95, 638 pp. The book includes the complete text of the ISO JPEG standards (DIS 10918-1 and draft DIS 10918-2).

Although this is by far the most detailed and comprehensive exposition of JPEG publicly available, we point out that it is still missing an explanation of the most essential properties and algorithms of the underlying DCT technology. If you think that you know about DCT-based JPEG after reading this book, then you are in delusion. The real fundamentals and corresponding potential of DCT-based JPEG are not publicly known so far, and that is the reason for all the mistaken developments taking place in the image coding domain.

The original JPEG standard is divided into two parts, Part 1 being the actual specification, while Part 2 covers compliance testing methods. Part 1 is titled "Digital Compression and Coding of Continuous-tone Still Images, Part 1: Requirements and guidelines" and has document numbers ISO/IEC IS 10918-1, ITU-T T.81. Part 2 is titled "Digital Compression and Coding of Continuous-tone Still Images, Part 2: Compliance testing" and has document numbers ISO/IEC IS 10918-2, ITU-T T.83.

IJG JPEG 8 introduced an implementation of the JPEG SmartScale extension which is specified in two documents: A contributed document at ITU and ISO with title "ITU-T JPEG-Plus Proposal for Extending ITU-T T.81 for Advanced Image Coding", April 2006, Geneva, Switzerland. The latest version of this document is Revision 3. And a contributed document ISO/IEC JTC1/SC29/WG1 N 5799 with title "Evolution of JPEG", June/July 2011, Berlin, Germany. IJG JPEG 9 introduces a reversible color transform for improved lossless compression which is described in a contributed document ISO/IEC JTC1/SC29/ WG1 N 6080 with title "JPEG 9 Lossless Coding", June/July 2012, Paris, France.

The JPEG standard does not specify all details of an interchangeable file format. For the omitted details we follow the "JFIF" conventions, revision 1.02. JFIF 1.02 has been adopted as an Ecma International Technical Report and thus received a formal publication status. It is available as a free download in PDF format from <http://www.ecma-international.org/publications/techreports/E-TR-098.htm>.

A PostScript version of the JFIF document is available at <http://www.ijg.org/files/jfif.ps.gz>. There is also a plain text version at <http://www.ijg.org/files/jfif.txt.gz>, but it is missing the figures.

The TIFF 6.0 file format specification can be obtained by FTP from <ftp://ftp.sgi.com/graphics/tiff/TIFF6.ps.gz>. The JPEG incorporation scheme found in the TIFF 6.0 spec of 3-June-92 has a number of serious problems.

IJG does not recommend use of the TIFF 6.0 design (TIFF Compression tag 6). Instead, we recommend the JPEG design proposed by TIFF Technical Note #2 (Compression tag 7). Copies of this Note can be obtained from <http://www.ijg.org/files/>. It is expected that the next revision of the TIFF spec will replace the 6.0 JPEG design with the Note's design. Although IJG's own code does not support TIFF/JPEG, the free libtiff library uses our library to implement TIFF/JPEG per the Note.

ARCHIVE LOCATIONS

=====

The "official" archive site for this software is www.ijg.org. The most recent released version can always be found there in directory "files". This particular version will be archived as <http://www.ijg.org/files/pegsr9a.tar.gz>, and in Windows-compatible "zip" archive format as <http://www.ijg.org/files/pegsr9a.zip>.

The JPEG FAQ (Frequently Asked Questions) article is a source of some general information about JPEG.

It is available on the World Wide Web at <http://www.faqs.org/faqs/jpeg-faq/> and other news.answers archive sites, including the official news.answers archive at rtfm.mit.edu: <ftp://rtfm.mit.edu/pub/usenet/news.answers/jpeg-faq/>.

If you don't have Web or FTP access, send e-mail to mail-server@rtfm.mit.edu with body

send usenet/news.answers/jpeg-faq/part1
send usenet/news.answers/jpeg-faq/part2

ACKNOWLEDGMENTS

=====

Thank to Juergen Bruder for providing me with a copy of the common DCT algorithm article, only to find out that I had come to the same result in a more direct and comprehensible way with a more generative approach.

Thank to Istvan Sebestyen and Joan L. Mitchell for inviting me to the ITU JPEG (Study Group 16) meeting in Geneva, Switzerland.

Thank to Thomas Wiegand and Gary Sullivan for inviting me to the Joint Video Team (MPEG & ITU) meeting in Geneva, Switzerland.

Thank to Thomas Richter and Daniel Lee for inviting me to the ISO/IEC JTC1/SC29/WG1 (previously known as JPEG, together with ITU-T SG16) meeting in Berlin, Germany.

Thank to John Korejwa and Massimo Ballerini for inviting me to fruitful consultations in Boston, MA and Milan, Italy.

Thank to Hendrik Elstner, Roland Fassauer, Simone Zuck, Guenther Maier-Gerber, Walter Stoerber, Fred Schmitz, and Norbert Braunagel for corresponding business development.

Thank to Nico Zschach and Dirk Stelling of the technical support team at the Digital Images company in Halle for providing me with extra equipment for configuration tests.

Thank to Richard F. Lyon (then of Foveon Inc.) for fruitful communication about JPEG configuration in Sigma Photo Pro software.

Thank to Andrew Finkenshteyn for hosting the ijg.org site.

Last but not least special thank to Thomas G. Lane for the original design and development of this singular software package.

FILE FORMAT WARS

=====

The ISO/IEC JTC1/SC29/WG1 standards committee (previously known as JPEG, together with ITU-T SG16) currently promotes different formats containing the name "JPEG" which is misleading because these formats are incompatible with original DCT-based JPEG and are based on faulty technologies. IJG therefore does not and will not support such momentary mistakes (see REFERENCES). There exist also distributions under the name "OpenJPEG" promoting such kind of formats which is misleading because they don't support original JPEG images. We have no sympathy for the promotion of inferior formats. Indeed, one of the original reasons for developing this free software was to help force convergence on common, interoperable format standards for JPEG files. Don't use an incompatible file format! (In any case, our decoder will remain capable of reading existing JPEG image files indefinitely.)

The ISO committee pretends to be "responsible for the popular JPEG" in their public reports which is not true because they don't respond to actual requirements for the maintenance of the original JPEG specification. Furthermore, the ISO committee pretends to "ensure interoperability" with their standards which is not true because their "standards" support only application-specific and proprietary use cases and contain mathematically incorrect code.

There are currently different distributions in circulation containing the name "libjpeg" which is misleading because they don't have the features and are incompatible with formats supported by actual IJG libjpeg distributions. One of those fakes is released by members of the ISO committee and just uses the name of libjpeg for misdirection of people, similar to the abuse of the name JPEG as described above, while having nothing in common with actual IJG libjpeg distributions and containing mathematically incorrect code. The other one claims to be a "derivative" or "fork" of the original libjpeg, but violates the license conditions as described under LEGAL ISSUES above and violates basic C programming properties. We have no sympathy for the release of misleading, incorrect and illegal distributions derived from obsolete code bases. Don't use an obsolete code base!

According to the UCC (Uniform Commercial Code) law, IJG has the lawful and legal right to foreclose on certain standardization bodies and other institutions or corporations that knowingly perform substantial and systematic deceptive acts and practices, fraud, theft, and damaging of the value of the people of this planet without their knowing, willing and intentional consent. The titles, ownership, and rights of these institutions and all their assets are now duly secured and held in trust for the free people of this planet. People of the planet, on every country, may have a financial interest in the assets of these former principals, agents, and beneficiaries of the foreclosed institutions and corporations. IJG asserts what is: that each man, woman, and child has unalienable value and rights granted and deposited in them by the Creator and not any one of the people is subordinate to any artificial principal, corporate fiction or the special interest of another without their appropriate knowing, willing and intentional consent made by contract or accommodation agreement. IJG expresses that which already was. The people have already determined and demanded that public administration entities, national governments, and their supporting judicial systems must be fully transparent, accountable, and liable. IJG has secured the value for all concerned free people of the planet.

A partial list of foreclosed institutions and corporations ("Hall of Shame") is currently prepared and will be published later.

TO DO
=====

Version 9 is the second release of a new generation JPEG standard to overcome the limitations of the original JPEG specification, and is the first true source reference JPEG codec. More features are being prepared for coming releases...

Please send bug reports, offers of help, etc. to jpeg-info@jpegclub.org.

libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.6.17, March 26, 2015, are Copyright (c) 2004, 2006-2015 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list

of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31)" and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a

certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp@users.sourceforge.net
March 26, 2015

opencv

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

License Agreement For Open Source Computer Vision Library

Copyright (C) 2000-2008, Intel Corporation, all rights reserved.
Copyright (C) 2009-2010, Willow Garage Inc., all rights reserved.
Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistribution's of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistribution's in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of the copyright holders may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall the Intel Corporation or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

tiff

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

仕様／別売品

仕 様		
外形寸法	(本体)幅330 mm×奥行325 mm×高さ92 mm (充電台)幅218 mm×奥行136 mm×高さ99 mm	
質量	3.0 kg (本体のみ)	0.6 kg (充電台)
集じん容積	0.25 L	
使用電池	充電式リチウムイオン電池	
電池寿命※	繰り返し充放電 約1500回	
定格電圧	DC14.4 V	
連続使用時間	約100分 (満充電・電池初期/20℃時)	
充電台	入力	AC100 V 50-60 Hz (消費電力：充電中 約33 W、本体を外したとき 約0.4 W)
	出力	DC20.5 V 1.3 A
	充電時間	約3時間 (電池が空状態から充電を開始した場合、周囲温度20℃時)
	コードの長さ	1 m
付属品	<ul style="list-style-type: none"> 充電台(1個) お手入れブラシ(1個) 	
無線LAN	無線LAN規格	IEEE802.11b/g/n
	周波数範囲	2.4 GHz帯
	暗号化方式	WPA™/WPA2™
	WPSバージョン	Version 2.0

※ 自動モードで使用した場合の充放電回数です。＜周囲温度20℃の場合(ただし、周囲温度、使用頻度、お使いの環境・条件などによって異なります)＞

- 本機のレーザーセンサーは、JIS C 6802「レーザー製品の安全基準」クラス1レーザー製品です。
 - ・最大出力：＜0.65 mW
 - ・レーザー波長：808 nm

別 売 品		
品名	品番	メーカー希望小売価格※
■電池 (充電式リチウムイオン電池) 	AVV97V-NF	13,000円
■フリーフェンス 部屋を仕切る 家具を保護する 	MC-ARF1	1,000円
■サイドブラシ (L) (R) セット 	MC-ARB3	2,400円
■サイドブラシ(L) 	AVV92T-NF0K	1,200円
■サイドブラシ(R) 	AVV93T-NF0K	1,200円

※ 2018年3月現在(税抜)

別売品は、販売店で買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

 **Panasonic Store**

<http://jp.store.panasonic.com/>

保証とアフターサービス

よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■お買い上げの際に記入されると便利です。

お買い求め先	
電 話	
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「音声ガイド(お知らせ表示・エラー表示)」「故障かな？」(28～32ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切り、充電台の電源プラグを抜いて、お買い求め先へご連絡ください。

●製品名	：ロボット掃除機
●品番	：MC-RS800
●故障の状況	：できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い求め先が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
【持込修理対象商品】

保証期間：お買い上げ日から本体1年間 ただし電池・サイドブラシは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。


*修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代 部品および補助材料代
- 出張料 技術者を派遣する費用

*補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談窓口にご連絡ください。

愛情点検	長年ご使用のロボット掃除機の点検を！			
	こんな症状はありませんか	●スタート/ストップボタンを押しても、運転しない ●電源プラグやコードを動かすと、本体接続ランプが点灯したりしなかったりする ●運転中、異常な音がする ●本体が変形したり、異常に熱くなったりする ●焦げ臭い「におい」がする ●その他の異常、故障がある		ご使用中 止
		事故防止のため、すぐに電源を切り充電台の電源プラグを抜いて、販売店へ点検をご依頼ください。		

必要なとき

保証とアフターサービス (つづき)

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>



フリーダイヤル
0120-878-691

■上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル
0120-878-236

パナは ロクキューイチ
受付時間 9:00~18:00 (年中無休)

家事商品
使い方・お手入れなどのご相談窓口

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

スマートフォンを使った 無線アクセス機能ご相談窓口



フリーダイヤル
0120-878-832

パナは ハチサンニ
受付時間 9:00~18:00 (年中無休)



フリーダイヤル
0120-878-554

■上記電話番号が
ご利用いただけない場合
03-6633-6700

■FAX フリーダイヤル
0120-878-225

パナは イイヨ

修理に関するご相談窓口

便利な修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- ・有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします

特典

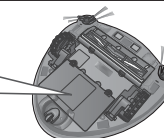
- お宅の家電商品、消耗品情報が一元管理できる!
- 登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる!
- 登録すると抽選で商品券などが当たる!

詳しくはこちら
<http://club.panasonic.jp/aiyo/>



本体裏面のQRコードから登録していただくと、品番と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。

QRコードを
読み取る



・QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナー事業部

〒527-8501 滋賀県東近江市林田町1500番地

© Panasonic Corporation 2017



AVV01Z0NF002
S0917-2038